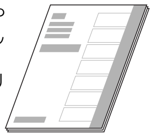
Canon

レーザビームプリンタ

Satera LBP3410

かんたん操作ガイド

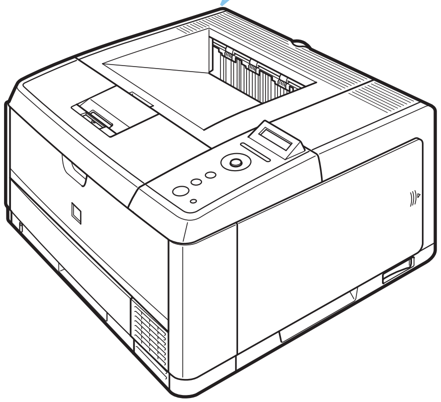
かんたん操作ガイドについて



本書は簡単なプリンタの使いかたやトラブルの解決方法について紹介しています。
いつでもお読みになれるようにプリンタの近くに置いてご活用ください。

おことわり

本書にはプリンタを取り扱うための注意事項や制限事項は記載されていませんので、必ず取扱説明書CD-ROMに収められている取扱説明書もあわせてお読みください。



次ページに目的別索引を掲載しています。あわせてご覧ください。

どんなことで困ってますか？

ディスプレイにメッセージが表示されている

どんなことが知りたいですか？

操作方法が知りたい

本プリンタについて知りたい

取扱説明書 CD-ROM について

取扱説明書 CD-ROM に収められている取扱説明書の概要

取扱説明書名（PDF ファイル名）	概要
設置ガイド（STG.pdf）	プリンタの設置、パソコンとの接続、オプション品の取り付けなど、プリンタのハード的なセットアップについて記載されています。
ユーザーズガイド（USG.pdf）	プリンタの各部名称、基本的な使用方法、消耗品の交換方法、トラブルシュート、おもな仕様など、プリンタをお使いになるときにお読みいただきたい事項が記載されています。
ネットワークガイド（NWG_3.pdf）	各種ネットワークの設定方法やネットワーク使用時のトラブルシュートなど、プリンタをネットワーク環境で使用するための設定方法について記載されています。
LIPS 機能ガイド（LKG.pdf）	プリンタの操作パネルの操作方法や操作パネルで行える設定項目の概要説明など、プリンタの操作パネルで行える設定について記載されています。
リモート UI ガイド（RUG_3.pdf）	Web ブラウザを使ってプリンタの設定をする方法について記載されています。

※ PDF 取扱説明書をご覧になるには、Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader が必要です。ご使用のシステムに Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader がインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードし、インストールしてください。

※ PDF 取扱説明書は PDF フォルダ内にある以下のフォルダに収められています。
・「common3」フォルダ：ネットワークガイド、リモート UI ガイド
・「LBP3410」フォルダ：設置ガイド、ユーザーズガイド、LIPS 機能ガイド

取扱説明書 CD-ROM メニューについて

本製品に付属の取扱説明書 CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットすると、下のメニュー画面が表示されます。（ここでは、Windows の画面を例にしています。）

* Macintosh をお使いの場合、「Satera」アイコンをダブルクリックして、お使いのOS が Mac OS X の場合は「OSX_START」アイコンを、お使いのOS が Mac OS 8/9 の場合は「OS8_9_START」アイコンをダブルクリックするとメニュー画面が表示されます。お使いのOS と異なるアイコンをダブルクリックすると正常に動作しない場合があります。

*2 取扱説明書CD-ROMの使いかたや、使用上の注意事項などが記載されています。

取扱説明書CD-ROMについての簡単な説明が記載されています。

*1 キヤノンホームページからお使いのプリンタに関しての知りたい情報や、トラブルの解決方法などを検索することができます。

*2、*3 PDF取扱説明書を読んだり、キーワード検索を行うことができます。また、取扱説明書CD-ROMの機能をお使いのパソコンへインストールすることもできます。



取扱説明書CD-ROMを終了します。

*1 キヤノンホームページの修理や消耗品、製品を購入するときなどのお問い合わせ窓口一覧がご覧になれます。

*1 キヤノンホームページからユーザ登録およびアンケートへの回答を行うことができます。

*1 キヤノンホームページから最新のプリンタドライバをダウンロードできます。

*1 インターネットをご利用できる環境のみアクセスすることができます。

*2 PDF 取扱説明書またはCD-ROM の使いかたをご覧になるには、Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader が必要です。ご使用のシステムに Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader がインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードし、インストールしてください。

*3 キーワード検索（キーワードを使ってプリンタについて知りたいことをPDF 取扱説明書の中から検索し、該当ページを表示させる機能）は、Windows のみの機能です。ただし、Adobe Reader 6 以降では、該当ページを正しく表示することができません。該当ページを正しく表示するには、Adobe Reader 6 以前の Adobe Acrobat Reader をご使用ください。

規制について

商標について

Canon、Canon ロゴ、LBP、LIPS は、キヤノン株式会社の商標です。

Adobe、Adobe Acrobat、Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の商標です。

Apple、AppleTalk、Mac OS、Macintosh、TrueType は、米国およびその他の国で登録されている Apple Inc. の商標です。

HP、HP-GL は、米国 Hewlett-Packard Company の米国の商標です。

Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

UNIX は、The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

Ethernet は、米国 Xerox Corporation の商標です。

ESC/P は、セイコーエプソン株式会社の商標です。

BMLinkS は、社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会（JBMIA）の商標です。

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

原稿などを読み込む際の注意事項

以下を原稿として読み込むか、あるいは複製し加工すると、法律により罰せられる場合がありますのでご注意ください。

●著作物など

他人の著作物を権利者に無断で複製などすることは、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲においての使用を目的とする場合を除き違法となります。また、人物の写真などを複製などする場合には肖像権が問題となることがあります。

●通貨、有価証券など

以下のものを本物と偽って使用する目的で複製すること、またはその本物と紛らわしいものを作成することは法律により罰せられます。

- 紙幣、貨幣、銀行券（外国のものを含む）
- 国債証券、地方債証券
- 郵便為替証書
- 郵便切手、印紙
- 株券、社債券
- 手形、小切手
- 定期券、回数券、乗車券
- その他の有価証券

●公文書など

以下のものを本物と偽って使用する目的で偽造することは法律により罰せられます。

・公務員または役所が作成した免許証、登記簿謄本その他の証明書や文書
・私人が作成した契約書その他権利義務や事実証明に関する文書
・役所または公務員の印影、署名または記号
・私人の印影または署名

関係法律	• 刑法	• 郵便法
	• 著作権法	• 郵便切手類模造等取締法
	• 通貨及証券模造取締法	• 印紙犯罪処罰法
	• 外国二於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造二関スル法律	• 印紙等模造取締法

プリンタの操作

Chapter

1

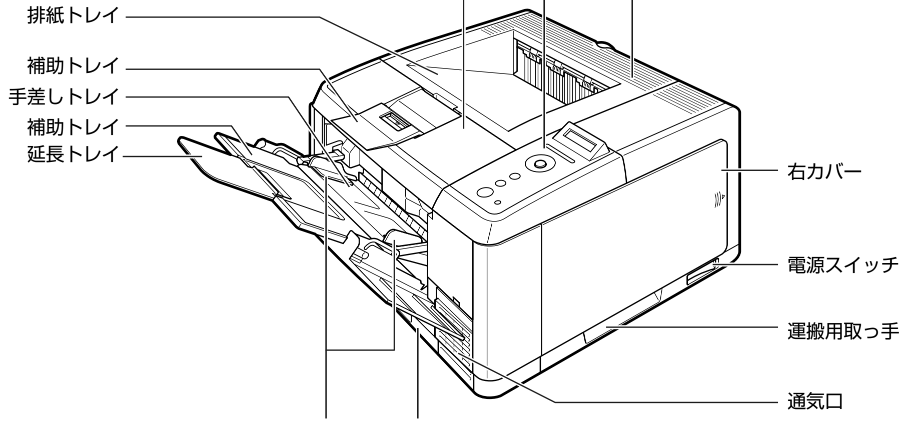
各部の名称

本体

プリンタ本体の各部の名称を説明しています。

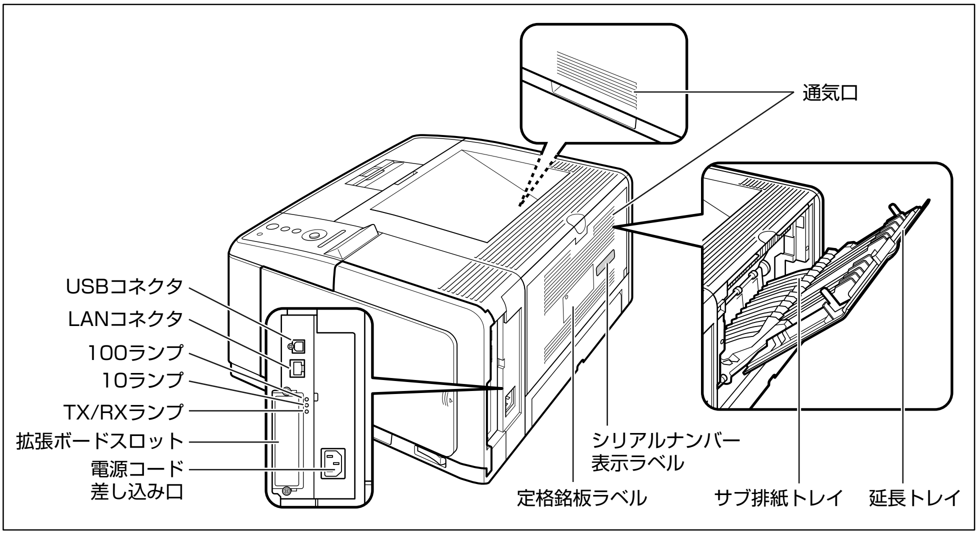
前面

前面の各部の名称を説明しています。



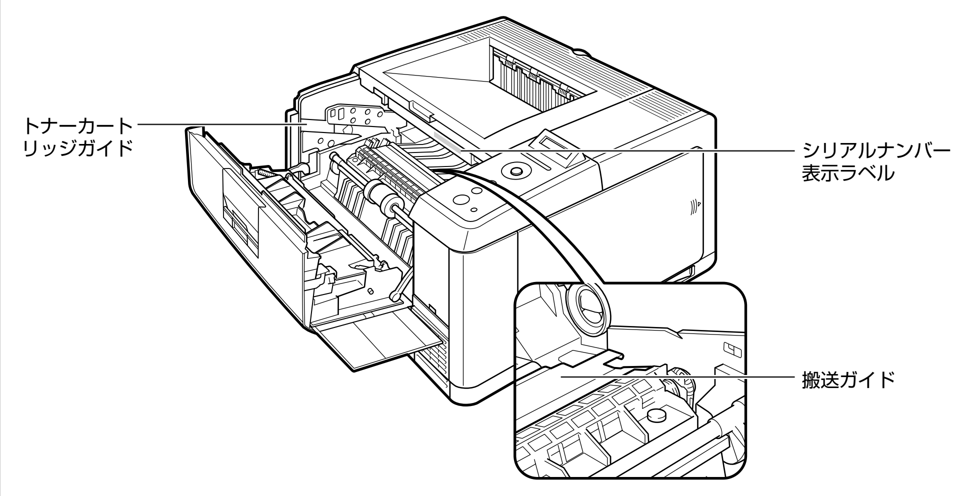
背面

背面の各部の名称を説明しています。



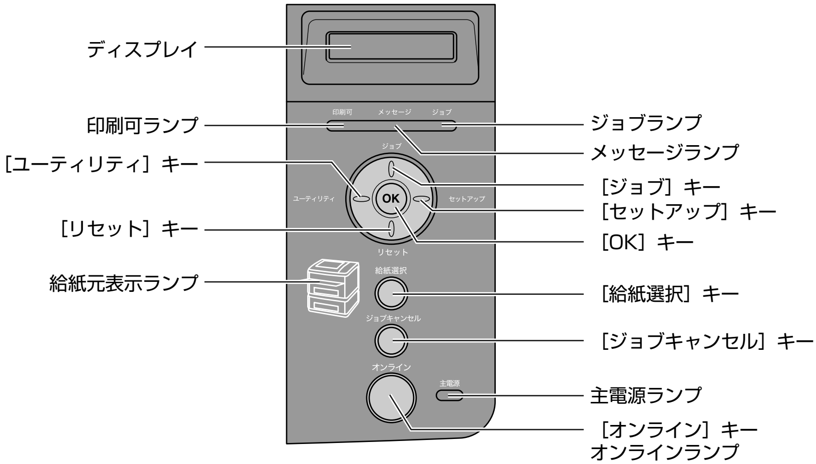
プリンタ内部

プリンタ内部の各部の名称を説明しています。



操作パネル

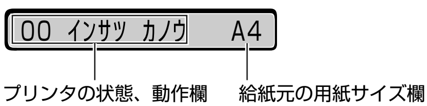
本プリンタの上部には下図のような操作パネルがあり、この操作パネルで本プリンタの状態を知ったり、本プリンタの持つ各種の機能を使うことができます。



ディスプレイ

本プリンタの操作パネルには下図のようなディスプレイがあり、プリンタの状態やメッセージ、メニュー機能の設定項目や設定値を表示します。

印刷可能な状態

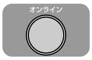
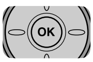


操作パネルでメニュー操作中の状態



操作パネルのキーの機能

操作パネルのキーはプリンタの設定や印刷ジョブの操作、トラブルの対処などに使われます。
操作パネルのキーは以下の機能と役割を持っています。

キー	機能		
 （オンライン）	オンライン状態とオフライン状態を切り替えます。キーが点灯しているときがオンライン状態、消灯しているときがオフライン状態です。 本文中では［オンライン］と表記します。		
	オンライン状態	オフライン状態	メニュー表示中
 （ジョブキャンセル）	ジョブランプが点灯・点滅している状態（データ処理中・データ受信中）で押すと、現在処理中のジョブをキャンセルします。本文中では［ジョブキャンセル］と表記します。		動作しません。
 （給紙選択）	給紙選択メニューを表示します。本文中では［給紙選択］と表記します。		動作しません。
 （ユーティリティ）	ユーティリティメニューを表示します。本文中では［ユーティリティ］と表記します。	動作しません。	同じ階層の左側の項目を表示します。項目が数値の場合は数値が減ります。そのまま押し続けると、数値の減る速度が速くなる項目もあります。本文中では［◄］と表記します。
 （ジョブ）	ジョブメニューを表示します。本文中では［ジョブ］と表記します。	動作しません。	上の階層の項目を表示します。本文中では［▲］と表記します。
 （リセット）	リセットメニューを表示します。本文中では［リセット］と表記します。		選択した項目を実行します。または次の階層に進みます。本文中では［▼］と表記します。［OK］と同じ動作をします。
 （セットアップ）	セットアップメニューを表示します。本文中では［セットアップ］と表記します。 ただし、オンライン状態ではユーザメンテナンスグループの設定はできません。		同じ階層の右側の項目を表示します。項目が数値の場合は数値が増えます。そのまま押し続けると、数値の増す速度が速くなる項目もあります。本文中では［►］と表記します。
 （OK）	動作しません。		選択した項目を実行します。または次の階層に進みます。本文中では［OK］と表記します。［▼］と同じ動作をします。

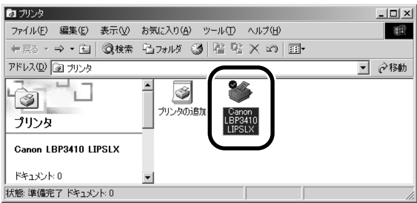
印刷の中止方法

印刷を中止するには、パソコン側で中止の操作を行います。

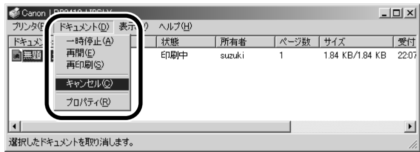
ここでは Windows を例にしています。Macintosh の場合については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

1 **コントロールパネルから [プリンタと FAX] または [プリンタ] フォルダを表示します。**

2 **印刷中のプリンタのアイコンをダブルクリックします。**



3 **中止するジョブを選択して、「ドキュメント」メニューから「キャンセル」（または「印刷中止」）を選択します。**



● プリンタにデータが残ってしまい、ジョブが正しく終了しない（ジョブランプが点灯している）ときは次の手順で「ソフト　リセット」または「ハード　リセット」の操作を行います。

4 **ソフトリセットやハードリセットは以下の操作で行います。**



（リセット）を押します。

リセットメニューが表示されます。

リセット
▼
ソフト　リセット　→

▼



または


で「ソフト　リセット」を選択します。

ソフト　リセット　→

▼

ソフトリセットする場合は、

を押します。

ソフト　リセット
▼
03　ソフト　リセット

ハードリセットする場合は、

を押し続け、「ハード　リセット」と表示されたら離します。

ハート゛　リセット
▼
03　ハート゛　リセット

●ソフトリセット・ハードリセットについて

○ソフトリセット

現在実行中の処理を中止したいときに、「ソフト　リセット」を実行します。すべてのインタフェースに受信された印刷データや処理中のジョブ、プリンタメモリ内の印刷データを消去します。
ソフトリセットを行うと、そのとき印刷中のデータやすべてのインタフェースで受信中のデータは消去されますので、再度パソコンから印刷しなおしてください。また、ネットワークで使用しているときは、他のパソコンからのデータに影響しないようにこの操作を行ってください。

○ハードリセット

何らかの理由で、すべての処理やすでにメモリに受信されたデータを消去したいときに、「ハードリセット」を実行します。すべてのインタフェースに受信された印刷データや処理中のジョブ、プリンタメモリ内の印刷データを消去します。
データの受信中にリセットした場合、まだメモリに受信していないデータはリセット処理後に受信されます。ただし、正しく印刷されないことがあります。また、ネットワークで使用しているときは、他のパソコンからのデータに影響しないようにこの操作を行ってください。

メンテナンス

Chapter

2

用紙について

本プリンタの性能を十分に引き出していただくため、用紙は適切なものを使用してください。用紙が適切でないと印字品質の低下や紙づまりの原因になります。

使用できる用紙

本プリンタでは次の用紙を使用できます。表中の◎は片面印刷と自動両面印刷が可能、○は片面印刷のみ可能、×は不可です。

用紙サイズ	給紙元		
	手差しトレイ	カセット 1	カセット 2（オプション）
A4	◎	◎	◎
B5	○	○	○
A5	○	○	○
リーガル	◎	◎	◎
レター	◎	◎	◎
エグゼクティブ	○	○	○
ユーザ設定サイズ	○ *1	○ *2	○ *2
はがき 100.0mm × 148.0mm	○	×	×
往復はがき 148.0mm × 200.0mm	○	×	×
4 面はがき 200.0mm × 296.0mm	○	×	×
封筒 洋形 4 号 105.0mm × 235.0mm	○	×	×
洋形 2 号 114.0mm × 162.0mm	○	×	×

*1 以下のユーザ設定サイズの用紙をセットすることができます。
- ·用紙を縦置きにセットした場合：幅 76.2mm ～215.9mm、長さ 127.0mm ～355.6mm
- ·用紙を横置きにセットした場合（LIPS LX プリンタドライバ使用時のみ）：幅 127.0mm～215.9 mm、長さ 127.0mm～215.9 mm

*2 以下のユーザ設定サイズの用紙をセットすることができます。
- ·用紙を縦置きにセットした場合：幅 148.0mm～ 215.9mm、長さ 210.0mm ～ 355.6mm
- ·用紙を横置きにセットした場合（LIPS LXプリンタドライバ使用時のみ）：幅210.0mm～215.9mm、長さ210.0mm～215.9 mm

● 紙の厚さについて
紙の厚さは、1m^2* あたりの重さがどれくらいかということで表され、一般的に g/m^2 という単位が使われます。
*1m^2 ＝ A4 サイズ 16 枚分

Check!

幅が 200mm サイズ以下の用紙を連続印刷した場合、熱による故障などを防止する安全機能が働き、印刷速度が段階的に遅くなることがあります。（最終的に約 2ppm まで遅くなることもあります。）

使用できない用紙

紙づまりやプリンタ本体の故障、トラブルを防ぐため、次にあげるような用紙はお使いにならないでください。

●紙づまりを起こしやすい用紙

- 厚すぎる用紙、薄すぎる用紙
- 不規則な形の用紙
- 湿っている用紙、濡れている用紙
- 破れている用紙
- 表面が粗い用紙、つるつるしすぎている用紙
- バインダ用の穴やミシン目のある用紙
- カールした用紙や折り目のある用紙
- 紙の表面に特殊なコーティングを施した用紙（インクジェットプリンタ専用コーティング用紙など）
- 裏紙が簡単にはがれてしまうラベル紙
- 複写機や他のレーザプリンタで一度使用した用紙（裏面も不可。ただし、本プリンタで一度印字した用紙の裏面に、手差しトレイを使用して手動で両面印刷することはできます。一度印字した同一面に再度印字することはできません。）
- バリのある用紙
- しわのある用紙
- 角折れのある用紙

●高温によって変質する用紙

- 定着器の加熱温度（約 270 ℃）以下で溶解、燃焼、蒸発したり有毒なガスを発するインクを使用した用紙
- 感熱用紙
- 表面加工したカラー用紙
- 紙の表面に特殊なコーティングを施した用紙（インクジェットプリンタ専用コーティング用紙など）
- 糊などがついた用紙

●プリンタ本体の故障や損傷の原因となる用紙

- カーボン紙
- ステイプル針、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
- 複写機や他のレーザプリンタで一度使用した用紙（裏面も不可。ただし、本プリンタで一度印字した用紙の裏面に、手差しトレイを使用して手動で両面印刷することはできます。一度印字した同一面に再度印字することはできません。）

●トナーが定着しにくい用紙

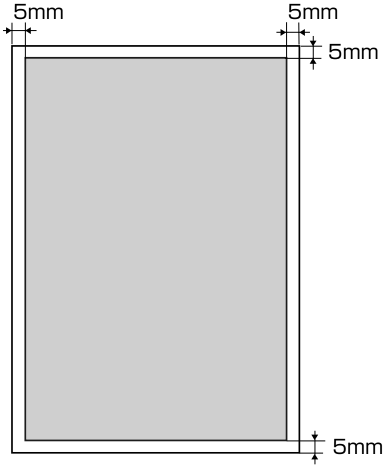
- ざら紙、和紙のように表面がざらざらしている用紙
- 紙の表面に特殊なコーティングを施した用紙（インクジェットプリンタ専用コーティング用紙など）
- 繊維の粗い用紙

印刷できる範囲

本プリンタで印刷できる領域は、次の範囲です。ただし、LIPS プリンタドライバの［仕上げ詳細］ダイアログで「印字領域を広げて印刷する」にチェックした場合は、有効印字領域を用紙の端近くまで広げることができます。詳しくは、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

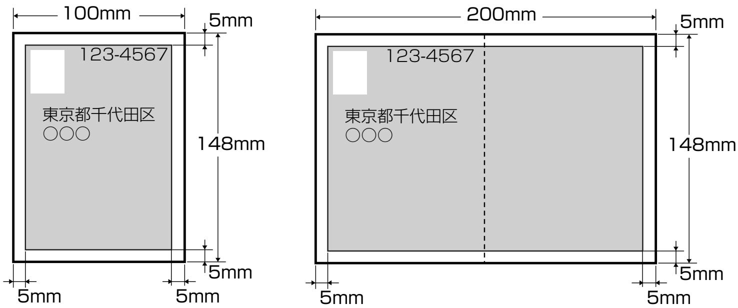
●普通紙 / 厚紙 /OHP フィルム / ラベル紙

用紙の周囲 5mm より内側の範囲に印刷できます。



●はがき / 往復はがき /4 面はがき

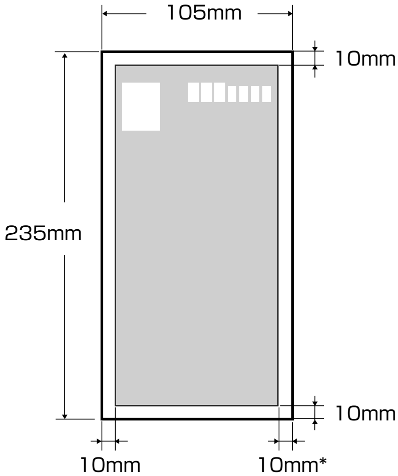
はがきの周囲 5mm より内側の範囲に印刷できます。



●封筒

封筒の周囲10mm(LIPS LXプリンタドライバを使用する場合の洋形4号と洋形2号の右は7.6mm)より内側の範囲に印刷できます。
お使いのアプリケーションによっては、印刷時に位置を調整してお使いください。

（洋形4号封筒の例）



*　LIPS LX プリンタドライバを使用する場合の洋形４号と洋形２号の右は 7.6mm

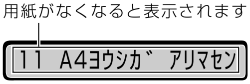
Point

はがきまたは封筒の有効印字領域いっぱいのデータを印刷した場合、最適な印字品質が得られない場合があります。データをはがきまたは封筒の有効印字領域より少し小さ目に設定することをおすすめします。

給紙カセットに用紙をセットして印刷する

「11　XXX　ヨウシガ　アリマセン」は給紙元の用紙がなくなった場合に表示されます。

用紙がなくなると表示されます。



用紙のなくなった給紙元に、用紙をセットしてください。
また、セットする用紙を変更したいときも次の手順で用紙をセットしてください。

用紙をセットするときは、プリンタが次のいずれかの状態のときに行ってください。

- ジョブランプが消灯しているとき
- プリンタの電源がオフのとき
- 用紙なしメッセージが表示されているとき

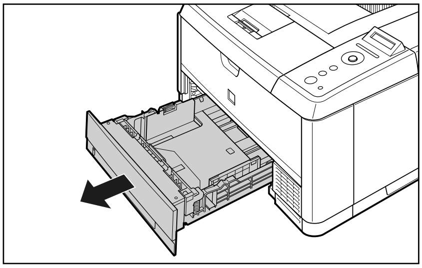
使用できる用紙については、「P.2-2」を参照してください。
使用できない用紙については、「P.2-3」を参照してください。

Point

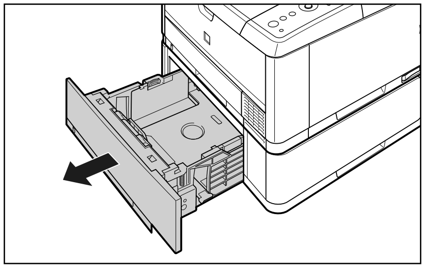
BMLinkS プリンタドライバから印刷する場合は、給紙カセットにセットされた用紙タイプと「デフォルト用紙タイプ」の設定を必ず一致させてください。プリンタドライバを使用できないOS（MS-DOS や UNIX など）から印刷する場合は、給紙カセットにセットされた用紙サイズ／用紙タイプと「デフォルト用紙サイズ」／「デフォルト用紙タイプ」の設定を必ず一致させてください。
詳しくは、LIPS 機能ガイド「第３章共通セットアップメニューの設定項目」を参照してください。

1 給紙カセットを引き出します。

カセット1



カセット2

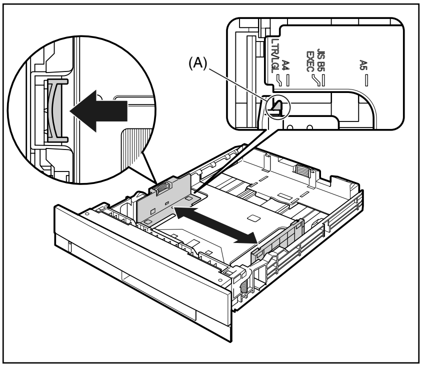


2 セットする用紙のサイズを変更するときは、給紙カセットの長さと用紙ガイドの位置を変更します。

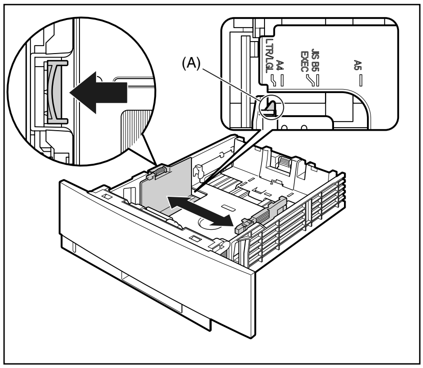
a 側面の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、セットする用紙サイズの位置に合わせて用紙ガイドを移動します。

側面の用紙ガイドは左右が連動しています。（A）の部分をセットする用紙サイズに合わせます。

カセット1



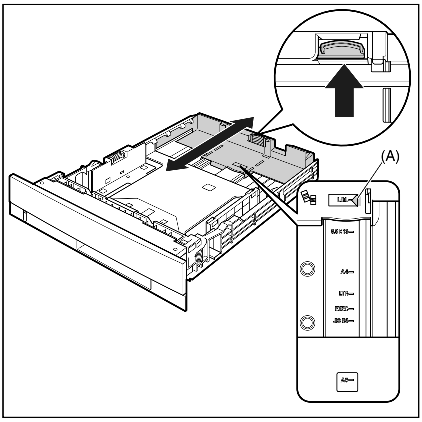
カセット2



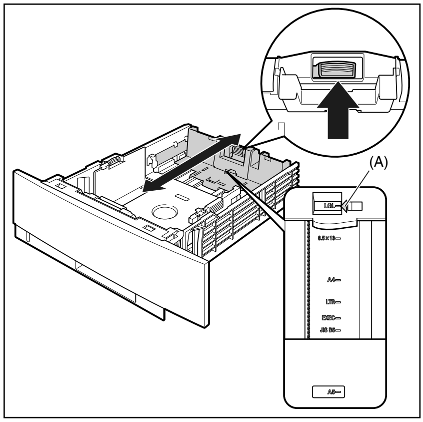
b 後端の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、セットする用紙サイズの位置に合わせて用紙ガイドを移動します。

（A）の部分をセットする用紙サイズに合わせます。

カセット1



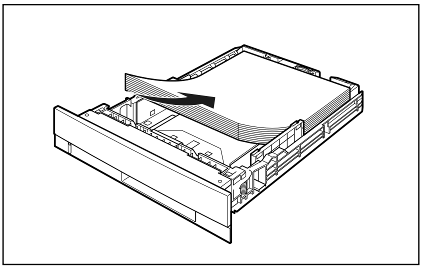
カセット2



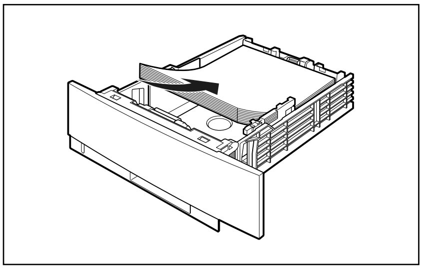
3 用紙の後端を用紙ガイドに合わせてセットします。

セットする用紙の向きについては、「用紙のセット向きについて」（→ P.2-27）を参照してください。

カセット1



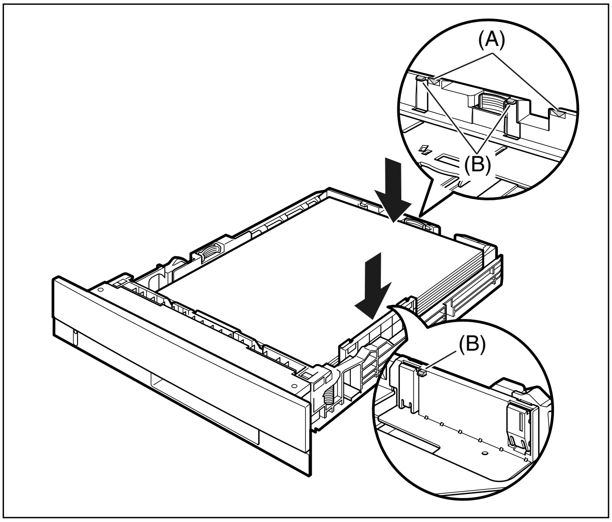
カセット2



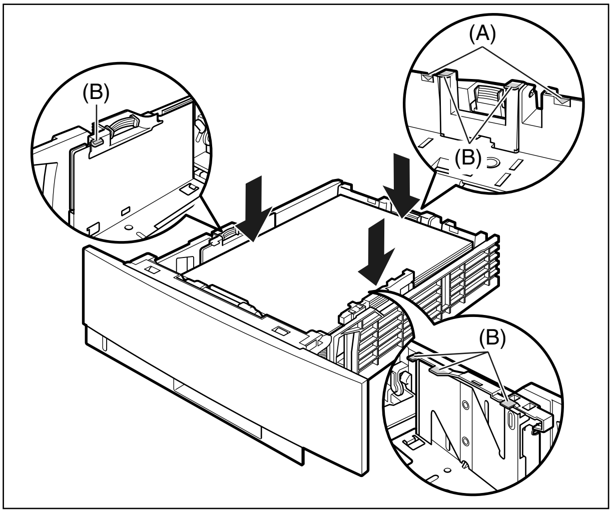
4 用紙を図のように下へ押さえ、積載制限マーク（A）を超えていないか確認し、用紙ガイドに付いているツメ（B）の下に用紙を入れます。

用紙ガイドのツメと用紙の間に十分すき間があることを確認してください。すき間が十分ない場合は、用紙を少し減らします。

カセット1



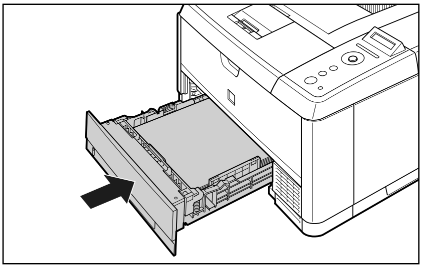
カセット2



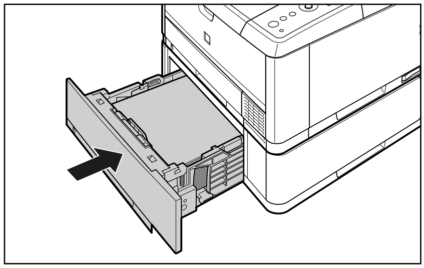
5 給紙カセットをプリンタにセットします。

給紙カセット前面が、プリンタの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます。

カセット1



カセット2



6 セットした用紙サイズの設定を操作パネルで行います。

セットした用紙のサイズを設定します。給紙カセットから印刷するときは、ここで設定した内容と、プリンタドライバの設定を一致させてください。

[セットアップ]（セットアップ）を押します。 セットアップメニューが表示されます。	セットアップ゜ カクチョウ キノウ →
[ユーティリティ] または [セットアップ] で「キュウシ」を選択します。	キュウシ →
[OK] を押します。	テサ゛シトレイ ヨウシサイス゛→
[ユーティリティ] または [セットアップ] で「カセット N　ヨウシ　サイズ」(N=1、2）を選択します。	カセット1 ヨウシ サイス゛ →
[OK] を押します。	=A4 →
[ユーティリティ] または [セットアップ] で給紙カセットにセットした用紙サイズを選択します。	B5 →
[OK] を押します。 用紙サイズの左に「=」が表示され、給紙カセットの用紙サイズが設定されます。	=B5 →

7 以降は、プリンタドライバの設定を行いますので、パソコンの前に移動します。

- プリンタドライバの設定は、お使いの OS、プリンタドライバの種類およびバージョンによって画面が異なることがあります。
  ここでは Windows を例に説明しています。Macintosh の設定方法については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。
  BMLinkS プリンタドライバをお使いの場合については、BMLinkS プリンタドライバに添付されている「ユーザーズマニュアル」を参照してください。
  プリンタドライバを使用できない OS（MS-DOS や UNIX など）から印刷する場合は、給紙カセットにセットされた用紙サイズ／用紙タイプと「デフォルト用紙サイズ」／「デフォルト用紙タイプ」の設定を必ず一致させてください。
  詳しくは、LIPS 機能ガイド「第 3 章共通セットアップメニューの設定項目」を参照してください。

8 アプリケーションソフトで［印刷］を選択します。次に［プリンタ名］で本プリンタを選択し、［プロパティ］をクリックします。



9 ［ページ設定］ページをクリックし、［原稿サイズ］でアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズ、［出力用紙サイズ］でセットした用紙のサイズを選択します。



10 ［給紙］ページをクリックし、［給紙部］で使用するカセット、［用紙タイプ］でセットした用紙のタイプを選択します。

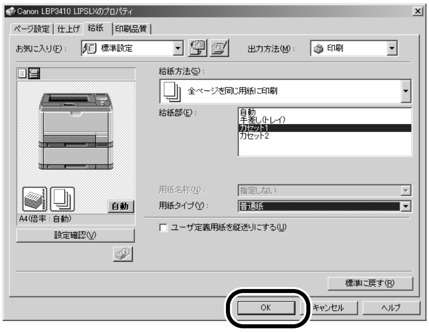


［用紙タイプ］は以下のように設定します。

普通紙（64 ～80g/m^2）	［普通紙］*
厚紙（90 ～120g/m^2）	［厚紙 1］

* ［普通紙］に設定して印刷した結果、用紙のカールが目立つときは、［普通紙 L］に設定してください。

11 [OK] をクリックして、プロパティダイアログボックスを閉じます。

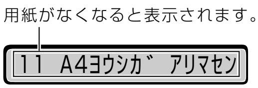


12 [OK] をクリックして、印刷を実行します。



手差しトレイに用紙をセットして印刷する

「11　XXX　ヨウシガ　アリマセン」は給紙元の用紙がなくなった場合に表示されます。



用紙のなくなった給紙元に、用紙をセットしてください。
また、セットする用紙を変更したいときも次の手順で用紙をセットしてください。

手差しトレイには、以下のような用紙をセットすることができます。

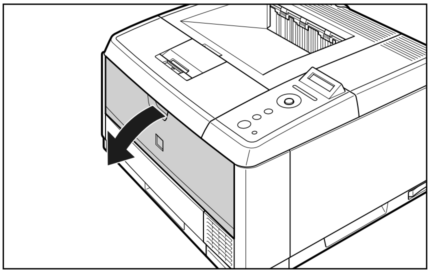
用紙のタイプ	用紙のサイズ	積載枚数
普通紙	· 定形サイズ A4、B5、A5、リーガル、レター、エグゼクティブ · はがきサイズ はがき（100.0mm × 148.0mm） 往復はがき（148.0mm × 200.0mm） 4 面はがき（200.0mm × 296.0mm） · ユーザ設定サイズ *1	約 100 枚（64g/m^2 の場合）
厚紙		約 80 枚（90g/m^2 の場合） 約 50 枚（128g/m^2 の場合） 30 枚以下（199g/m^2 の場合）
ラベル用紙	A4	約 40 枚
OHP フィルム	A4	50 枚以下
封筒	洋形 4 号（105.0mm × 235.0mm） 洋形 2 号（114.0mm × 162.0mm）	10 枚以下
はがき	郵便はがき（100.0mm × 148.0mm） 郵便往復はがき（148.0mm × 200.0mm） 郵便 4 面はがき（200.0mm × 296.0mm） キヤノン推奨 4 面はがき（200.0mm × 296.0mm）	約 50 枚

*1 ユーザ設定サイズについては、「ユーザ設定サイズの用紙に印刷する」（→ P.2-16）を参照してください

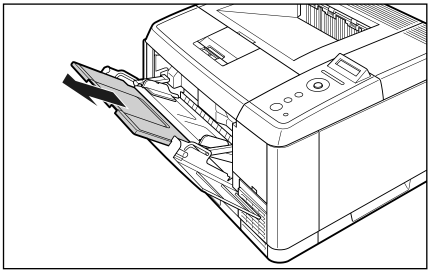
● 紙の厚さについて
紙の厚さは、1m^2* あたりの重さがどれくらいかということで表され、一般的に g/m^2 という単位が使われます。
*1m^2 ＝ A4 サイズ 16 枚分

1 手差しトレイを開けます。

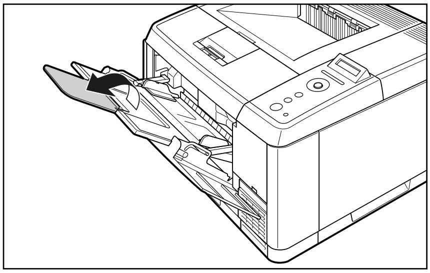
手差しトレイは中央の取っ手を持って開けます。



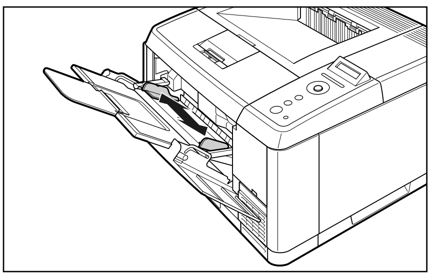
2 補助トレイを引き出します。



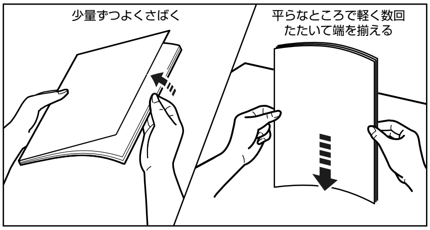
A4 などの長いサイズの用紙をセットするときは､延長トレイを開けます。



3 用紙ガイドの幅を紙幅より少し広めにセットします。



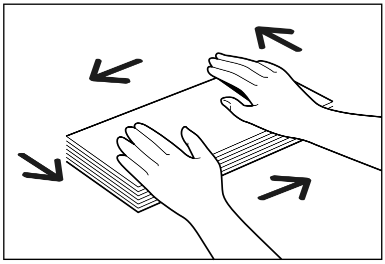
4 OHP フィルムやラベル用紙をセットする場合は、用紙を少量ずつさばき、端を揃えます。



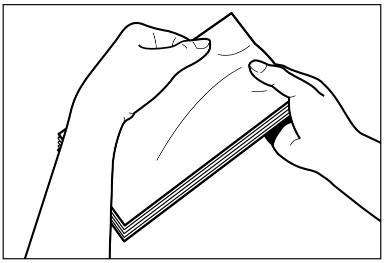
Point

封筒は次の手順で揃えます。

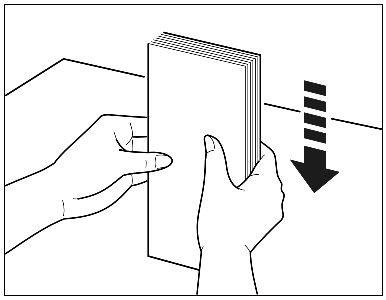
a 封筒の束を平らな場所へ置き、上面を押して空気を抜いてから、縁の折り目をきちんと付けて、平らにします。



b 封筒の四隅の固い部分を図のように取り除き、カールをなおします。



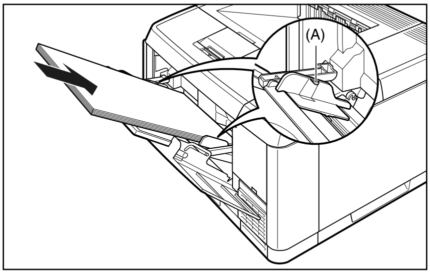
c 封筒を平らな場所で揃えます。



5 用紙の印刷面を上にして、奥に当たるまでゆっくりと差し込みます。

用紙束は積載制限ガイド（A）の下を通してください。

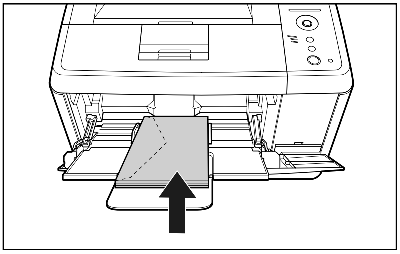
セットする用紙の向きについては、「用紙のセット向きについて」（→P.2-27）を参照してください。



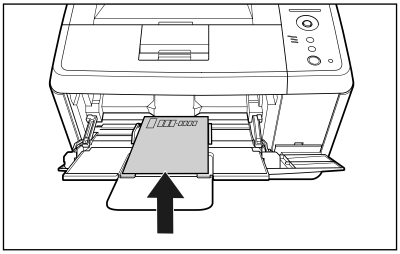
Point

封筒、はがきの場合は以下のようにセットします。

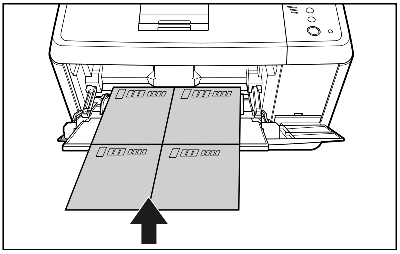
・封筒　洋形４号／洋形２号
ふたがプリンタを前面から見て左側になるようにセットします。



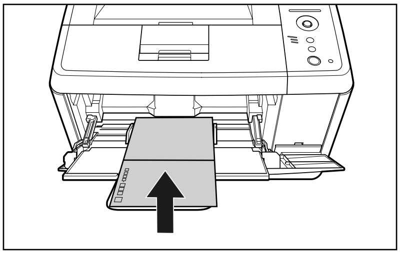
・はがき
はがきの上端がプリンタを前面から見て奥側になるようにセットします。



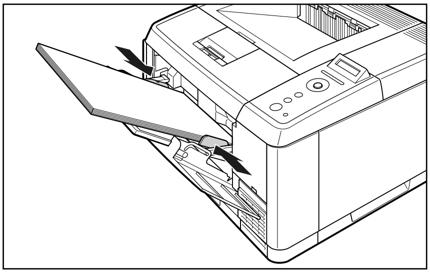
・４面はがき
はがきの上端がプリンタを前面から見て奥側になるようにセットします。



・往復はがき
はがきの上端がプリンタを前面から見て左側になるようにセットします。

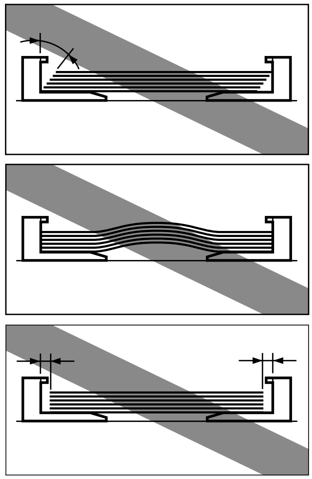


6 用紙ガイドを、用紙の左右にぴったりと合わせます。



Check!

必ず用紙ガイドを用紙の幅に合わせてください。ゆるすぎたりきつすぎたりすると、正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。



7 セットした用紙サイズの設定を操作パネルで行います。

セットした用紙のサイズを設定します。手差しトレイから印刷するときは、ここで設定した内容と、プリンタドライバの設定を一致させてください。

[セットアップ]（セットアップ）を押します。

セットアップメニューが表示されます。

セットアップ゜
カクチョウ　キノウ　→

▼

[ユーティリティ] または [セットアップ] で「キュウシ」を選択します。

キュウシ　→

▼

[OK] を押します。

テサ゛シトレイ　ヨウシサイズ゛→

▼

[ユーティリティ] または [セットアップ] で「テザシトレイ　ヨウシサイズ」を選択します。

テサ゛シトレイ　ヨウシサイズ゛→

▼

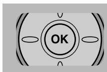
[OK] を押します。

=A4　→

▼

[ユーティリティ] または [セットアップ] で手差しトレイにセットした用紙サイズを選択します。

B5　→

を押します。

=B5 →

用紙サイズの左に「=」が表示され、手差しトレイの用紙サイズが設定されます。

8 以降は、プリンタドライバの設定を行いますので、パソコンの前に移動します。

- プリンタドライバの設定は、お使いの OS、プリンタドライバの種類およびバージョンによって画面が異なることがあります。
  ここでは Windows を例に説明しています。Macintosh の設定方法については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。
  BMLinkS プリンタドライバをお使いの場合については、BMLinkS プリンタドライバに添付されている「ユーザーズマニュアル」を参照してください。
  DOS や UNIX など、プリンタドライバが使用できない OS から印刷する方法についてはユーザーズガイド第 3 章「手差しトレイから印刷する」を参照してください。

9 アプリケーションソフトで［印刷］を選択します。次に［プリンタ名］で本プリンタを選択し、［プロパティ］をクリックします。



10 ［ページ設定］ページをクリックし、［原稿サイズ］でアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズ、［出力用紙サイズ］でセットした用紙のサイズを選択します。



11 ［給紙］ページをクリックし、［給紙部］で［手差し（トレイ)］、［用紙タイプ］でセットした用紙のタイプを選択します。

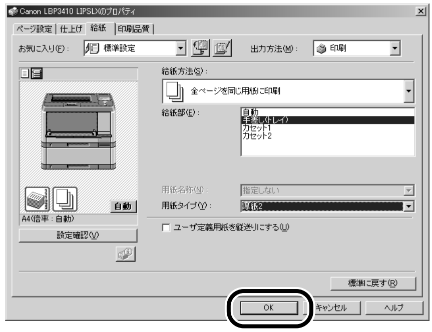


［用紙タイプ］は以下のように設定します。

普通紙 (64～80g/m²)	［普通紙］＊
厚紙 (90～163g/m²)	［厚紙 1］
厚紙（199g/m²)	［厚紙 2］
OHP フィルム	［OHP フィルム］
ラベル用紙	長さ270mm未満の場合: ［普通紙］ 長さ270mm以上の場合: ［厚紙 1］
封筒	［封筒］
はがき、 キヤノン推奨4面はがき	［はがき］

＊ ［普通紙］に設定して印刷した結果、用紙のカールが目立つときは、［普通紙 L］に設定してください。

12 ［OK］をクリックして、プロパティダイアログボックスを閉じます。



13 ［OK］をクリックして、印刷を実行します。



ユーザ設定サイズの用紙に印刷する

本プリンタには以下のユーザ設定サイズの用紙をセットすることができます。

- 給紙カセット
  - ・用紙を縦置きにセットした場合：
    幅 148.0mm ～ 215.9mm、長さ 210.0mm ～ 355.6mm
  - ・用紙を横置きにセットした場合（LIPS LX プリンタドライバ使用時のみ）：
    幅 210.0mm ～ 215.9mm、長さ 210.0mm ～ 215.9mm
- 手差しトレイ
  - ・用紙を縦置きにセットした場合：
    幅 76.2mm ～ 215.9mm、長さ 127.0mm ～ 355.6mm
  - ・用紙を横置きにセットした場合（LIPS LX プリンタドライバ使用時のみ）：
    幅 127.0 ～ 215.9 mm、長さ 127.0 ～ 215.9 mm

ユーザ設定サイズの用紙に印刷する場合は、以下の手順で行います。

1. ユーザ設定サイズの用紙の登録する（→ P.2-17）
2. ユーザ設定サイズの用紙をセットする
   ・給紙カセットにセットする場合（→ P.2-18）
   ・手差しトレイにセットする場合（→ P.2-22）
3. プリンタドライバを設定して、ユーザ設定サイズの用紙を印刷する（→ P.2-25）

ユーザ設定サイズの登録方法

ユーザ設定サイズの用紙を印刷する場合は、以下の手順でユーザ設定サイズの用紙をプリンタドライバに登録する必要があります。

1 コントロールパネルから［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダを表示します。

2 ［印刷設定］または［プロパティ］ダイアログボックスを表示します。

3 ［ページ設定］ページを表示し、［ユーザ定義用紙］をクリックします。



4 必要に応じて各項目を設定します。



［用紙一覧］：	定形用紙と登録済みのユーザ設定サイズの用紙の名称とサイズが表示されます。
［ユーザ定義用紙名］：	登録するユーザ設定サイズの用紙の名称を入力します。
［単位］：	ユーザ設定サイズの用紙のサイズを設定するときに使用する単位（ミリメートルまたはインチ）を選択します。
［用紙サイズ］：	ユーザ設定サイズの用紙の高さと幅（高さ≧幅）を設定します。用紙サイズは、縦長（高さ≧幅）かつ、定義可能な範囲内で指定してください。

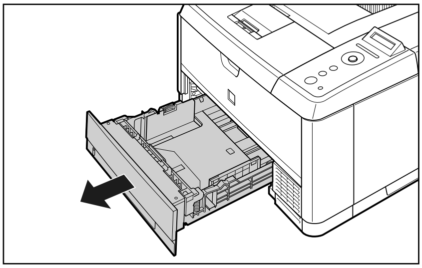
5 ［登録］をクリックして、［OK］をクリックします。



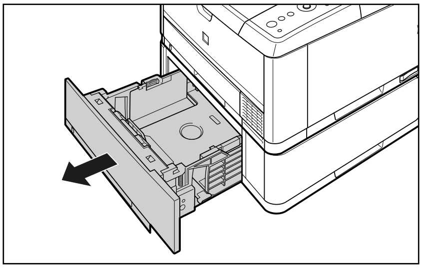
給紙カセットにユーザ設定サイズの用紙をセットする

1 給紙カセットを引き出します。

カセット1

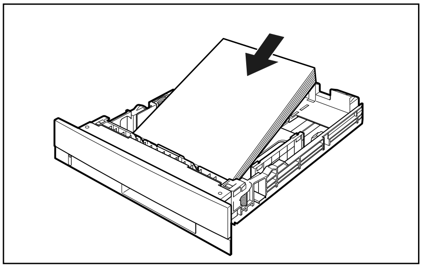


カセット2

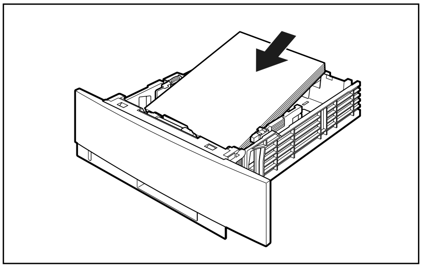


2 用紙を給紙カセットの手前側に合わせてセットします。

カセット1



カセット2

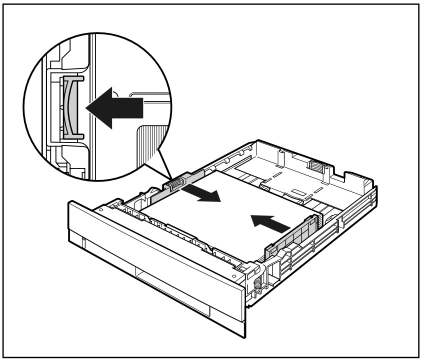


Point

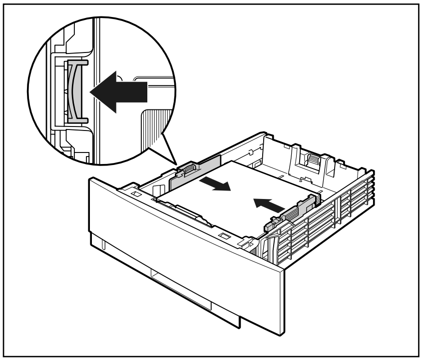
ユーザ設定サイズの用紙を印刷する場合に、LIPS LX プリンタドライバから印刷するときは、縦置き、横置きにセットすることが可能です。ただし、「カセットN（N=1、2）用紙サイズ」を「フリー」に設定している場合に、長辺が 215.9mm 以下のユーザ設定サイズの用紙を印刷するときは、横置きにセットしてください。また、LIPS LX プリンタドライバから印刷しない場合は、縦置きにセットしてください。

3 側面の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、セットした用紙サイズの位置に合わせて用紙ガイドを移動します。

カセット1

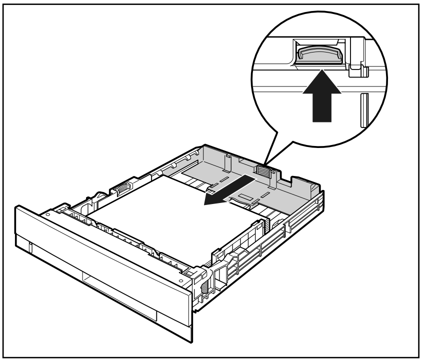


カセット2

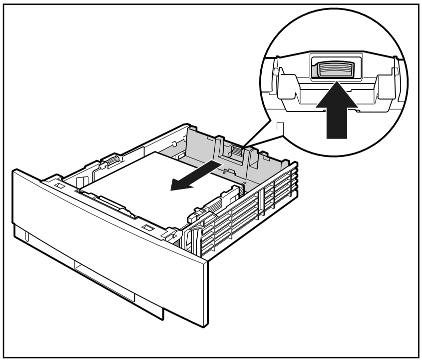


4 後端の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、セットした用紙サイズの位置に合わせて用紙ガイドを移動します。

カセット1



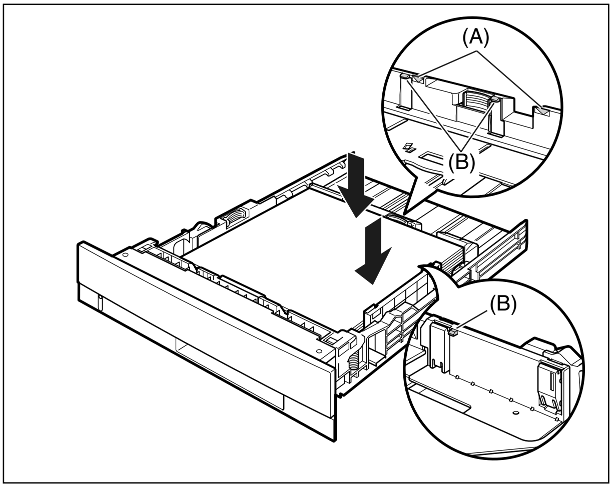
カセット2



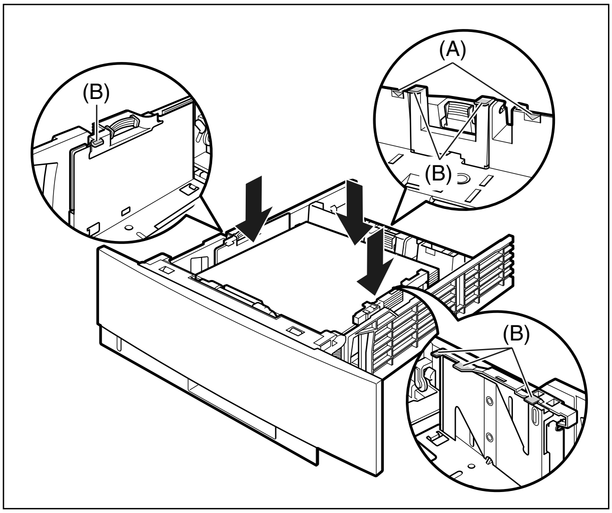
5 用紙を図のように下へ押さえ、積載制限マーク（A）を超えていないか確認し、用紙ガイドに付いているツメ（B）の下に用紙を入れます。

用紙ガイドのツメと用紙の間に十分すき間があることを確認してください。すき間が十分ない場合は、用紙を少し減らします。

カセット1



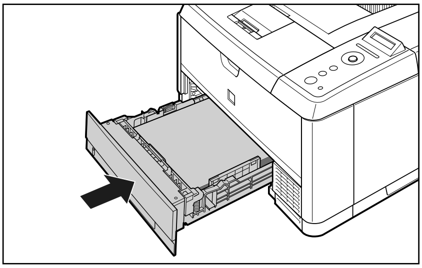
カセット2



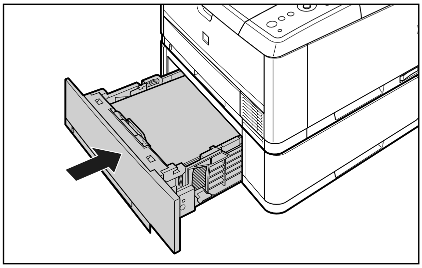
6 給紙カセットをプリンタにセットします。

給紙カセット前面が、プリンタの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます。

カセット1



カセット2



7 セットした用紙の置きかたの設定を操作パネルで行います。

［セットアップ］（セットアップ）を押します。

セットアップメニューが表示されます。

セットアップ゜
カクチョウ キノウ →

［ユーティリティ］または［セットアップ］で「キュウシ」を選択します。

キュウシ →

［OK］を押します。

テサ゛シトレイ ヨウシサイス゛→

［ユーティリティ］または［セットアップ］で「カセット N　ヨウシ　サイズ」（N=1、2）を選択します。

カセット2 ヨウシ サイス゛ →

［OK］を押します。

=ユーサ゛セッテイサイス゛ →

［ユーティリティ］または［セットアップ］で給紙カセットにセットした用紙サイズを選択します。

横置きにセットした場合（LIPS LX プリンタドライバ使用時のみ）は、「ユーザセッテイサイズ」、縦置きにセットした場合は「ユーザセッテイサイズR」を選択します。

ユーサ゛セッテイサイス゛R →

［OK］を押します。

用紙サイズの左に「=」が表示され、給紙カセットの用紙サイズが設定されます。

=ユーサ゛セッテイサイス゛R →

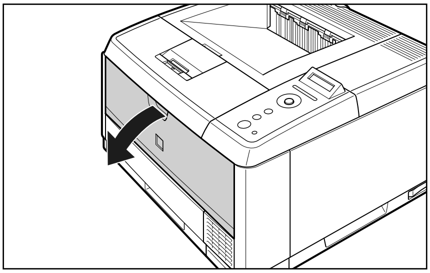
引き続きプリンタドライバの設定を行います（→ P.2-25）。

手差しトレイにユーザ設定サイズの用紙をセットする

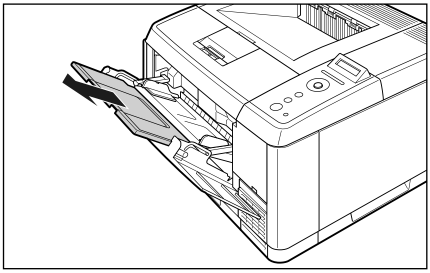
手差しトレイにユーザ設定サイズの用紙をセットするときは、次の手順でセットします。

1 手差しトレイを開けます。

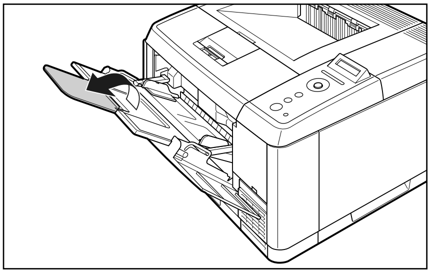
手差しトレイは中央の取っ手を持って開けます。



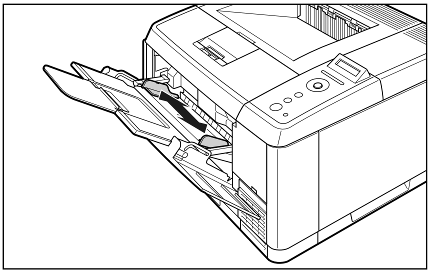
2 補助トレイを引き出します。



長いサイズの用紙をセットするときは、延長トレイを開けます。



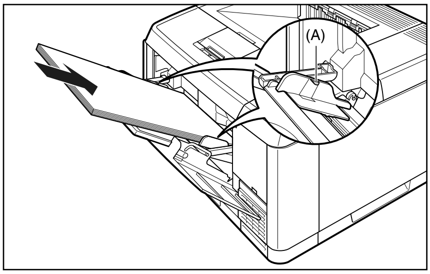
3 用紙ガイドの幅を紙幅より少し広めにセットします。



4 用紙の印刷面を上向きにして、図のように手差しトレイの奥に当たるまでゆっくりと差し込みます。

用紙束は積載制限ガイド（A）の下を通してください。

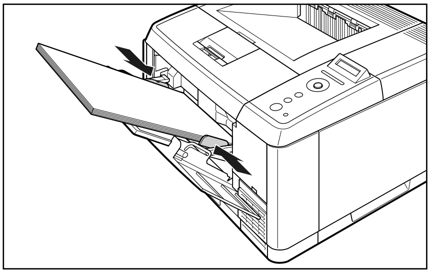
セットする用紙の向きについては、「用紙のセット向きについて」（→ P.2-27）を参照してください。



Point

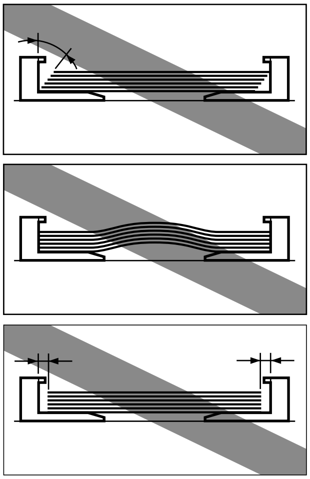
ユーザ設定サイズの用紙を印刷する場合に、LIPS LX プリンタドライバから印刷するときは、縦置き、横置きにセットすることが可能です。ただし、「手差しトレイ用紙サイズ」を「フリー」に設定している場合に、長辺が215.9mm 以下のユーザ設定サイズの用紙を印刷するときは、横置きにセットしてください。また、LIPS LX プリンタドライバから印刷しない場合は、縦置きにセットしてください。

5 用紙ガイドを、用紙の左右にぴったりと合わせます。



Point

必ず用紙ガイドを用紙の幅に合わせてください。ゆるすぎたりきつすぎたりすると、正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。



6 セットした用紙の置きかたの設定を操作パネルで行います。

（セットアップ）を押します。

セットアップメニューが表示されます。

セットアップ゜

カクチョウ キノウ →

または で「キュウシ」を選択します。

キュウシ →

を押します。

テザ゛シトレイ ヨウシサイズ゛→

ユーティリティ または セットアップ で「テサ゛シトレイ　ヨウシサイス゛」を選択します。

テサ゛シトレイ ヨウシサイス゛→

▼

OK を押します。

=A4 →

▼

ユーティリティ または セットアップ で手差しトレイにセットした用紙サイズを選択します。

横置きにセットした場合（LIPS LX プリンタドライバ使用時のみ）は、「ユーザセッテイサイズ」、縦置きにセットした場合は「ユーザセッテイサイズR」を選択します。

ユーサ゛セッテイサイス゛R →

▼

OK を押します。

用紙サイズの左に「=」が表示され、手差しトレイの用紙サイズが設定されます。

=ユーサ゛セッテイサイス゛R →

引き続きプリンタドライバの設定を行います（→ P.2-25）。

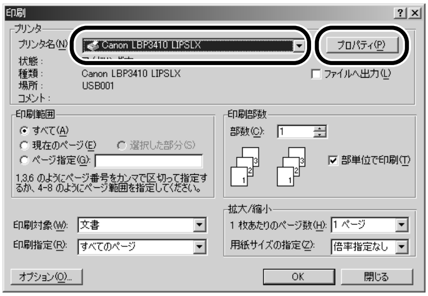
プリンタドライバの設定方法

ユーザ設定サイズの用紙を印刷するときは、次の手順でプリンタドライバを設定します。

Point

プリンタドライバの設定は、お使いの OS、プリンタドライバの種類およびバージョンによって画面が異なることがあります。
ここでは Windows を例に説明しています。Macintosh の設定方法については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

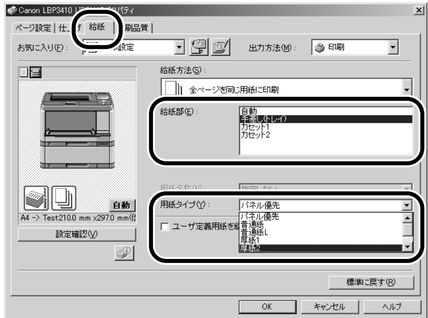
1 アプリケーションソフトで [印刷] を選択します。次に［プリンタ名］で本プリンタを選択し、［プロパティ］をクリックします。



2 ［ページ設定］ページをクリックし、［原稿サイズ］でアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズ、［出力用紙サイズ］でセットしたサイズのユーザ設定サイズの用紙を選択します。



3 ［給紙］ページをクリックして、［給紙部］でセットした給紙部を選択し、［用紙タイプ］でセットした用紙のタイプを選択します。



給紙カセットにユーザ設定サイズの用紙をセットした場合、［用紙タイプ］は以下のように設定します。

普通紙（64 ～ 80g/m^2）	［普通紙］＊
厚紙（90 ～ 120g/m^2）	［厚紙 1］

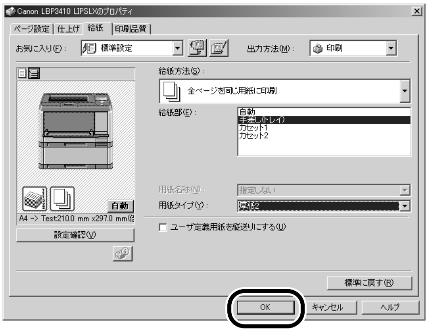
＊　［普通紙］に設定して印刷した結果、用紙のカールが目立つ場合は［普通紙 L］に設定してください。

手差しトレイにユーザ設定サイズの用紙をセットした場合、［用紙タイプ］は以下のように設定します。

普通紙（64 ～ 80g/m^2）	［普通紙］＊
厚紙（90 ～ 163g/m^2）	［厚紙 1］
厚紙（199g/m^2）	［厚紙 2］

＊　［普通紙］に設定して印刷した結果、用紙のカールが目立つときは、［普通紙 L］に設定してください。

4 [OK] をクリックして、プロパティダイアログボックスを閉じます。

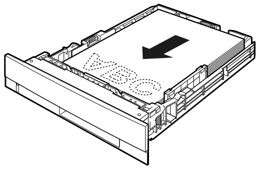
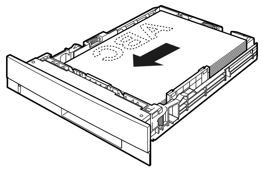
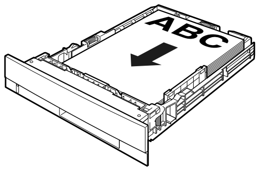
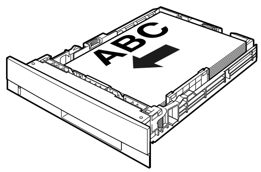
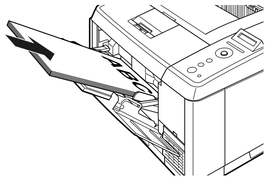
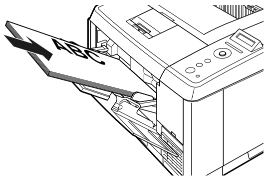
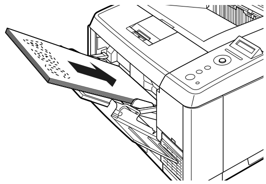
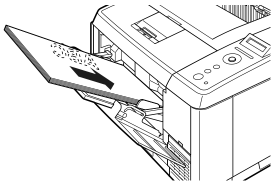
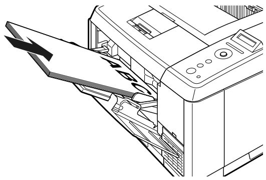
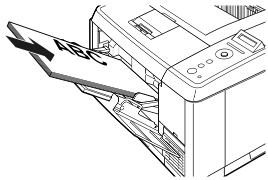


5 [OK] をクリックして、印刷を実行します。



用紙のセット向きについて

レターヘッドやロゴ付きの用紙などに印刷する場合は、以下のように正しい向きに用紙をセットしてください。表中の➡は給紙方向を表しています。

	縦レイアウト	横レイアウト
カセット1、2（片面印刷）		
カセット1、2（自動両面印刷）		
手差しトレイ（片面印刷）		
手差しトレイ（自動両面印刷）		
手差しトレイ（手動両面印刷）		

- 封筒、はがきの用紙セットの方向については「手差しトレイに用紙をセットして印刷する」（→P.2-11）を参照してください。
- LIPS LX プリンタドライバから印刷する場合は、縦置き、横置きにセットすることが可能ですが、長辺が 215.9mm 以下の定形外の用紙を印刷する場合は、横置きにセットしてください。LIPS LX プリンタドライバから印刷しない場合は、縦置きにセットしてください。
- 手差し両面印刷をする場合は、端を伸ばしてカールをなおしてから、1 枚ずつ手差しトレイにセットしてください。

トナーカートリッジを交換する

「トナー　ヨウイ／カクニン」が表示されたときは

トナーカートリッジは消耗品です。プリンタの使用中にトナーが少なくなると、ディスプレイにメッセージが表示されます。

メッセージ	表示される時期	内容および対処
16 トナー ヨウイ	トナーカートリッジの交換時期が近づいたとき	・印刷は継続できます ・新品のトナーカートリッジを用意してください ・大量の印刷をするときは、トナーカートリッジを交換することをおすすめします
16 トナー カクニン	トナーカートリッジの交換時期が近づいたとき	・プリンタは停止します ・［オンライン］を押すと印刷は継続できます ・新品のトナーカートリッジを用意してください ・大量の印刷をするときは、トナーカートリッジを交換することをおすすめします
9F トナー カクニン	トナーカートリッジが寿命になった可能性があるとき	・印刷は継続できます ・プリンタ本体の故障の原因となることがありますので、新しいトナーカートリッジに交換することをおすすめします
1G トナー カクニン	トナーカートリッジが寿命になったときまたは一度寿命に到達したトナーカートリッジがセットされている可能性があるとき	・印刷は継続できます ・プリンタ本体の故障の原因となることがありますので、新しいトナーカートリッジに交換することをおすすめします

*　トナーが少なくなったときに「16　トナー　ヨウイ」と「16　トナー　カクニン」のどちらが表示されるかは、セットアップメニューの「警告処理」の設定によります。本プリンタの工場出荷時の状態では、「16　トナー　ヨウイ」が表示されるように設定されています。「警告処理」の設定については、LIPS 機能ガイド「第３ 章共通セットアップメニューの設定項目」を参照してください。

● トナーカートリッジの寿命について

本プリンタ用トナーカートリッジ（キヤノン純正品）の寿命は、次のようになっています。このページ数は、A4 サイズで、「ISO/IEC 19752」* に準拠し、印字濃度が工場出荷初期設定値の場合です。トナー消費量は、印刷する書類の内容によって異なります。図・表・グラフなどのように空白部分が少ない書類はトナー消費量が多くなるので、このような書類を多く印刷する場合はトナーカートリッジの寿命が短くなります。

・Canon Cartridge 510（キヤノン　トナーカートリッジ　５１０）：約 6000 ページ
・Canon Cartridge 510 II（キヤノン　トナーカートリッジ　５１０　II）：約 12000 ページ

*「ISO/IEC 19752」とは、国際標準化機構（International Organization for Standardization）より発行された「印字可能枚数の測定方法」に関する国際標準

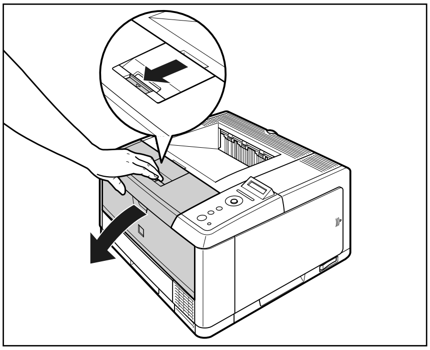
トナーカートリッジの交換

次の手順で新品のトナーカートリッジに交換してください。

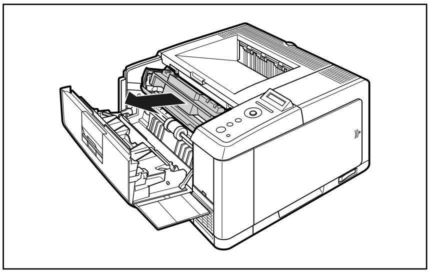
* 梱包材は予告なく位置・形状が変更されたり、追加や削除されることがあります。

1 前カバーを開けます。

前カバー上面にあるレバーを押しながら、ゆっくりと開けます。



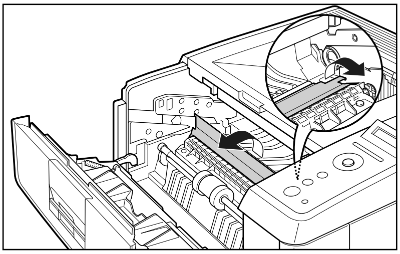
2 トナーカートリッジをプリンタから取り出します。



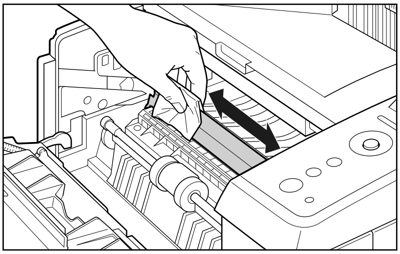
3 搬送ガイドを清掃します。

a 搬送ガイドを持ち上げます。

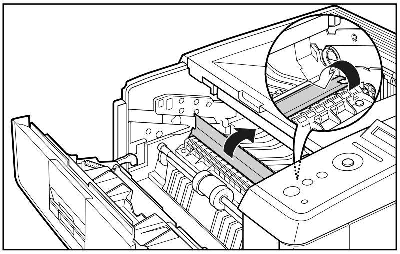
搬送ガイドは緑色の取っ手を持って持ち上げます。



b 水を含ませて固く絞った布で、搬送ガイドに付いている紙粉やトナーをふき取ります。
ふき取ったら、乾いた柔らかい布でからぶきしてください。

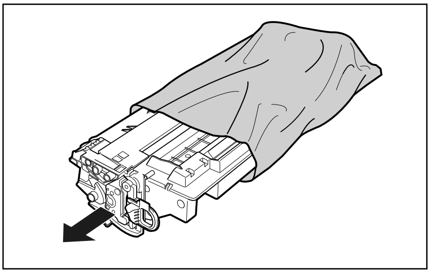


c 搬送ガイドをゆっくりと元の位置に戻します。

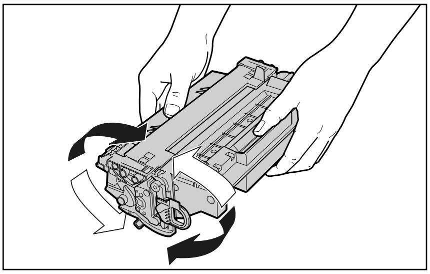


4 新しいトナーカートリッジを箱から取り出したあと、保護袋から取り出します。

保護袋はトナーカートリッジを傷つけないように、はさみなどで切って開けます。

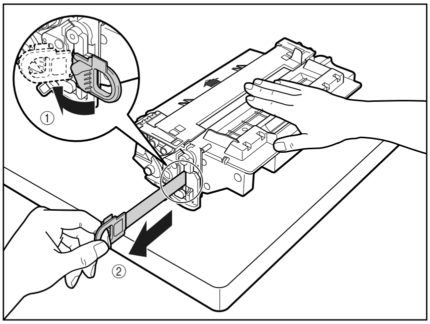


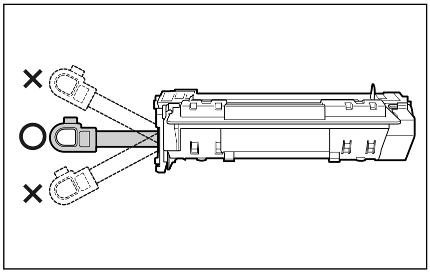
5 トナーカートリッジを図のように持ち、ゆっくりと５～６回振って、内部のトナーを均一にならします。



6 トナーカートリッジを平らな場所に置き、図のようにタブを折り①、トナーカートリッジを押さえながらシーリングテープ（長さ約 52cm）をゆっくりと引き抜きます②。

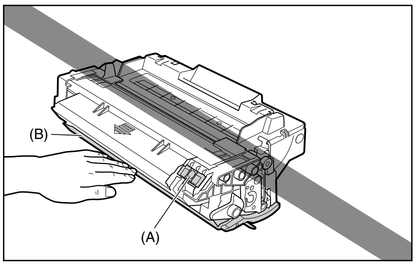
シーリングテープは、タブに指をかけ、矢印の方向にまっすぐ引き抜きます。



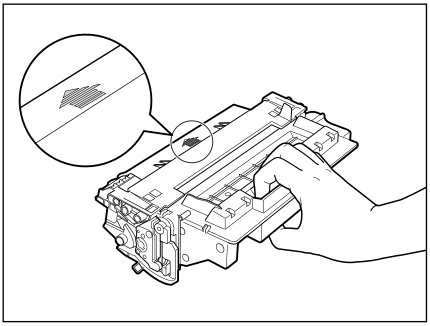


Point

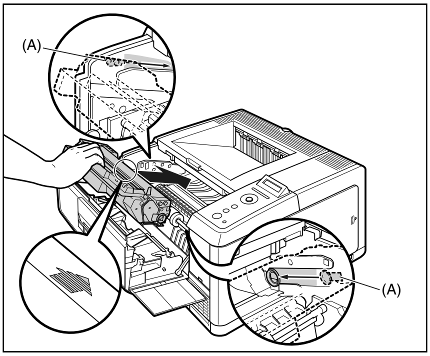
シーリングテープを引き抜くときは、トナーカートリッジメモリ（A）に触れたり、ドラム保護シャッター（B）を手で押さえつけないように気を付けて作業を行ってください。



7 図のように矢印のついている面を上にして、トナーカートリッジを正しく持ちます。

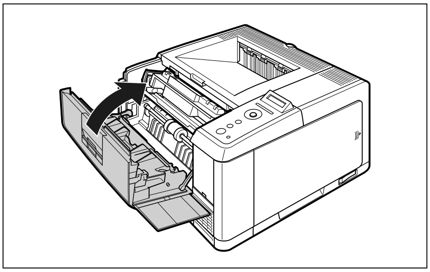


8 トナーカートリッジ左右の（A）を本体内部のトナーカートリッジガイドに合わせて、奥に当たるまで押し込みます。



9 前カバーを閉めます。

前カバーはカチッと音がするまで、ゆっくりと完全に閉めます。



Point

前カバーが閉まらないときは、トナーカートリッジの取り付け状態を確認してください。無理に前カバーを閉めると故障の原因になります。

定着ローラを清掃する

印刷した用紙の表面や裏面に黒点状の汚れが付着するような場合は、次の手順で定着ローラを清掃してください。清掃することで、画像不良の発生を防止します。

クリーニングの実行には、約 90 秒かかります。

クリーニングは中止することができません。完了するまでお待ちください。

クリーニング用紙を使って、定着ローラのクリーニングを行っても、印刷した用紙の表面や裏面に黒点状の汚れが付着するような場合は、印刷したクリーニング用紙を使わずに A4 サイズの白紙を手差しトレイにセットして、クリーニングを実行してください。

プリンタがオンライン状態になっていることを確認します。

オンライン状態になっていない場合、［オンライン］を押します。

［ユーティリティ］（ユーティリティ）を押します。

ﾕｰﾃｨﾘﾃｨ
ｽﾃｰﾀｽﾌﾟﾘﾝﾄ →

［ユーティリティ］または［セットアップ］で「クリーニング」を選択し、［OK］を押します。

ディスプレイに「クリーニング　ヨウシ」と表示され、クリーニング用紙の印刷待ちになります。

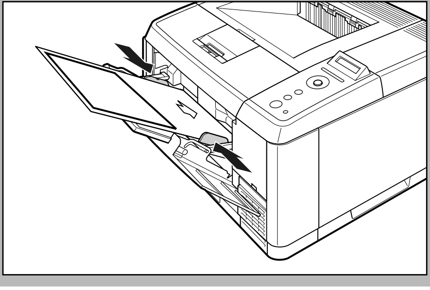
ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ →
ｼﾞｯｺｳﾁｭｳ
ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ ﾖｳｼ

手差しトレイに A4 サイズの用紙をセットし、［オンライン］を押します。

クリーニング用紙が印刷されます。

ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ ﾖｳｼ
01 ｸﾘｰﾆﾝｸﾞﾁｭｳ
00 ｼｮﾘﾁｭｳ A4
ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ ｼﾞｯｺｳ

クリーニング用紙の印刷面を下にして、矢印が奥になるように手差しトレイにセットします。





を押します。

```
クリーニング゛ ジ゛ッコウ
```

▼

```
01 クリーニング゛チュウ
```

印字濃度の調整をする

印刷結果の印字濃度が濃すぎたり、薄すぎたりするようなときは、次の操作でトナー濃度を調整します。トナー濃度は、工場出荷時に（3）に設定されています。トナー濃度は 1 〜 16 まで設定できます。

（セットアップ）を押します。

セットアップ゜
カクチョウ キノウ →

または で「インジ　チョウセイ」を選択し、を押します。

インシ゛ チョウセイ →
スーハ゜ースムース゛ →

または で「トナーノウド」を選択し、を押します。

トナー濃度の設定値が表示されます。

トナーノウト゛ →
=3

または で目的の数値を選択し、を押します。

1 にすると一番薄い濃度、16 にすると一番濃い濃度になります。

設定値の左に「＝」が表示され、濃度が設定されます。

6 →
=6

トラブルの対処法

Chapter

3

紙づまりの処理

印刷中に、何らかの理由で紙づまりが起こると、ピーという警告音が鳴り、ディスプレイに「13　ヨウシガ　ツマリマシタ」というメッセージが表示されます。紙づまりが起こったときは、次の手順でつまった用紙を取り除き、印刷を再開します。手順通り用紙を取り除いても紙づまりのメッセージが消えないときは、まだ用紙の断片などが内部に残っている可能性があります。再度プリンタの各部を点検し、つまっている用紙を完全に取り除いてください。

13 ﾖｳｼｶﾞ ﾂﾏﾘﾏｼﾀ

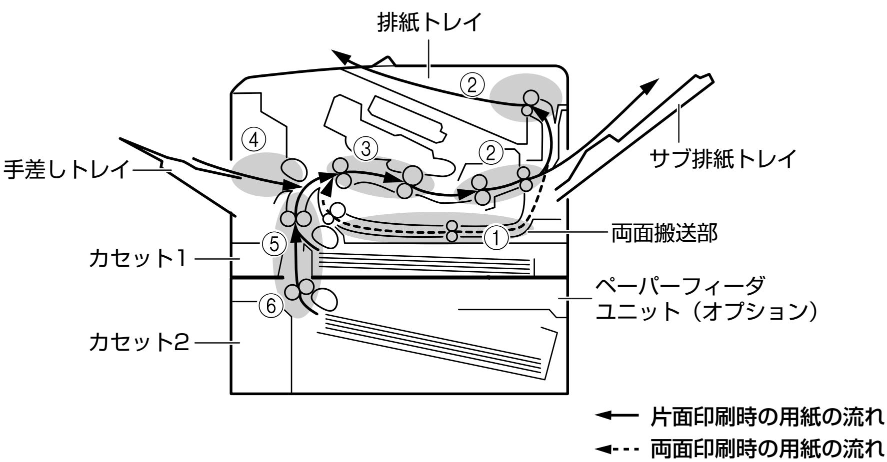
⇕

ﾏｴｶﾊﾞｰ ｴﾘｱ

メッセージが 1 つずつ順に表示されますので、すべてを確認してください。

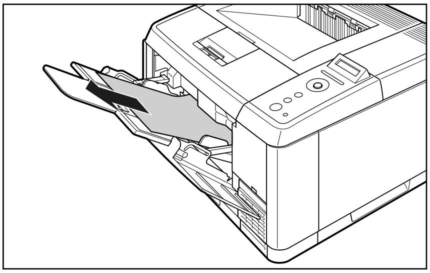
メッセージはカバーを開けると表示されなくなりますので、必要に応じてメモに書きとめておいてください。

ディスプレイに表示されているメッセージは、紙づまりが起きた場所を示しております。

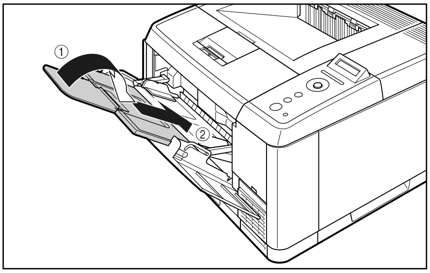


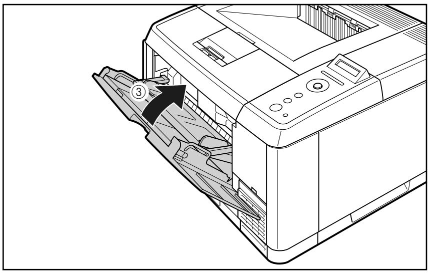
紙づまりの位置		ディスプレイメッセージ
①	両面搬送部	リョウメンユニット　エリア
②	排紙トレイ、サブ排紙トレイ	ハイシ　エリア
③	前カバー内部	マエカバー　エリア
④	手差しトレイ	テザシトレイ　エリア
⑤	カセット 1	カセット1　エリア
⑥	カセット 2（ペーパーフィーダ装着時のみ）	カセット2　エリア

1 手差しトレイを使用している場合で、手差しトレイ内に用紙が見える場合は、そのまま用紙を引っぱって、つまっている用紙を取り除きます。



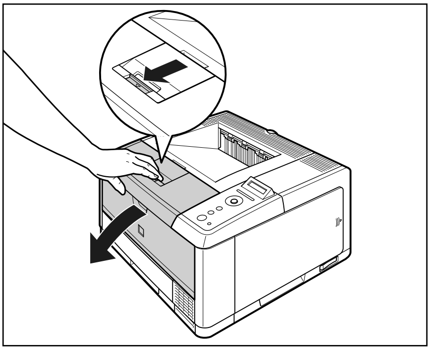
2 手差しトレイを閉めます。



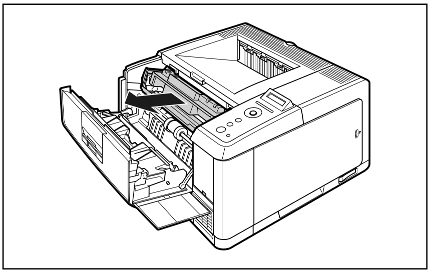


3 前カバーを開けます。

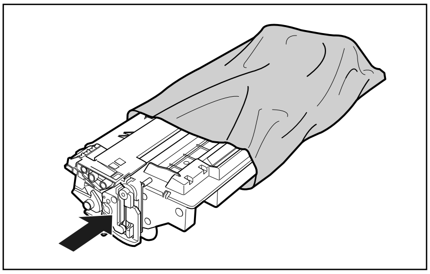
前カバー上面にあるレバーを押しながら、ゆっくりと開けます。



4 トナーカートリッジをプリンタから取り出します。

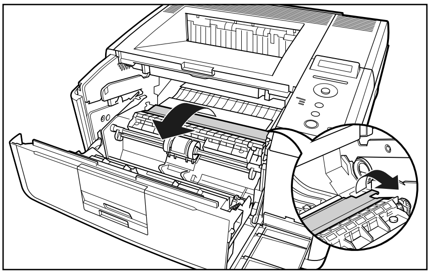


5 トナーカートリッジを保護袋に入れます。



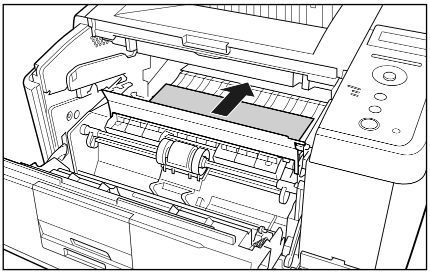
6 搬送ガイドを持ち上げ、手前に倒します。

搬送ガイドは緑色の取っ手を持って持ち上げ、手前に倒します。

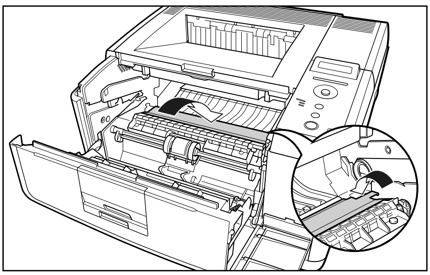


7 つまっている用紙を矢印の方向に引っぱって取り除きます。

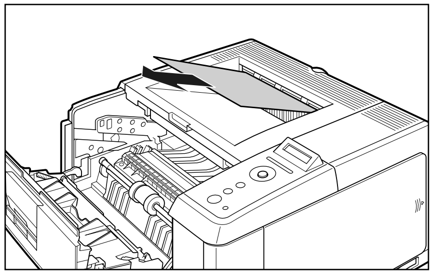
定着していないトナーをこぼさないようにゆっくりと取り除いてください。



8 搬送ガイドをゆっくりと元の位置に戻します。

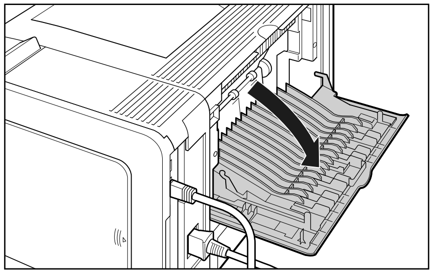


9 排紙トレイをチェックし、用紙がつまっていたら、取り除きます。

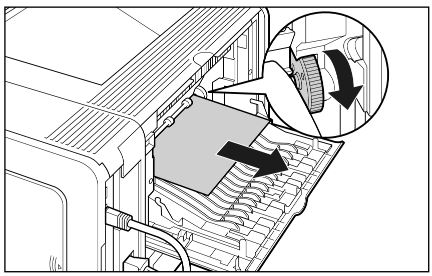


10 サブ排紙トレイを開けます。

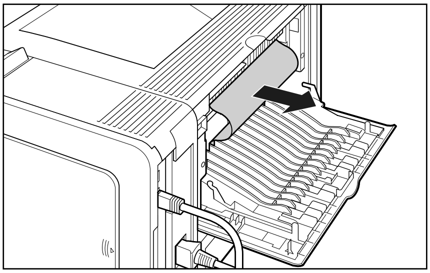
サブ排紙トレイは図のように完全に開けてください。



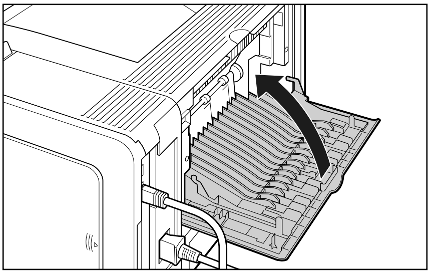
11 サブ排紙トレイ内の緑色のダイヤルを矢印の方向に回し、つまっている用紙を送り出します。



自動両面印刷を行っていた場合

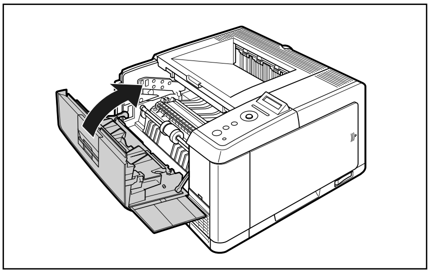


12 サブ排紙トレイを閉めます。

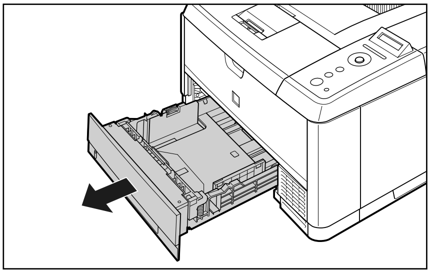


13 前カバーを閉めます。

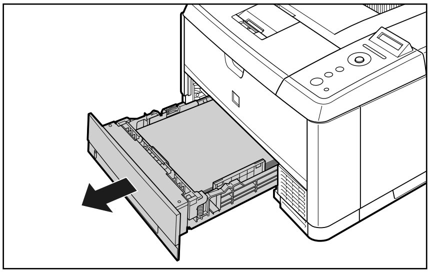
前カバーはカチッと音がするまで、ゆっくりと完全に閉めます。



14 給紙カセットを引き出します。

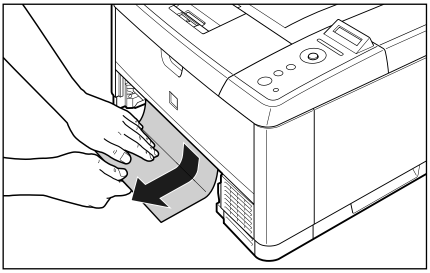


ペーパーフィーダが装着されている場合は、ペーパーフィーダの給紙カセットも引き出します。

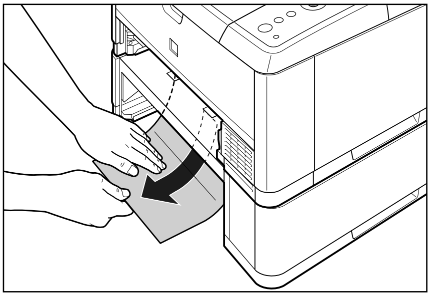


15 用紙をゆっくりと強く押し下げ、つまっている用紙を取り除きます。

プリンタ本体の場合



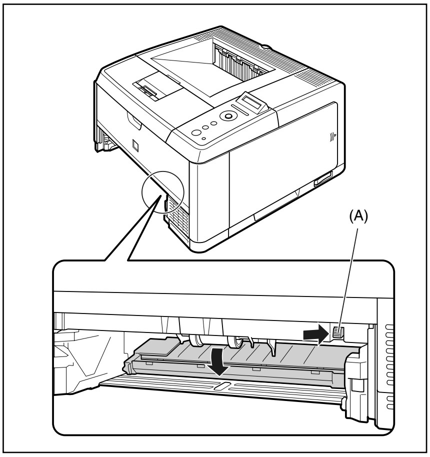
ペーパーフィーダの場合



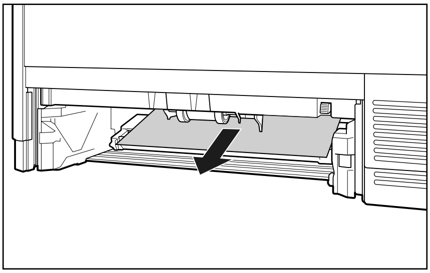
自動両面印刷を行っていない場合は、手順 19 に進んでください。

16 両面搬送ガイドを開けます。

図のように緑色のロック解除スイッチ（A）を押します。

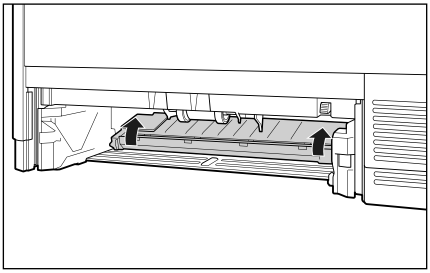


17 つまっている用紙を矢印の方向に引っぱって取り除きます。



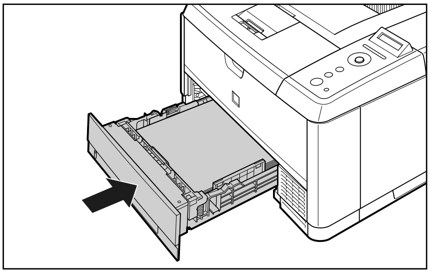
18 両面搬送ガイドを閉めます。

両面搬送ガイドは左右をしっかり閉めます。

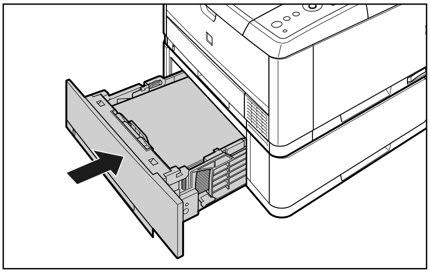


19 給紙カセットをプリンタにセットします。

給紙カセット前面が、プリンタの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます。

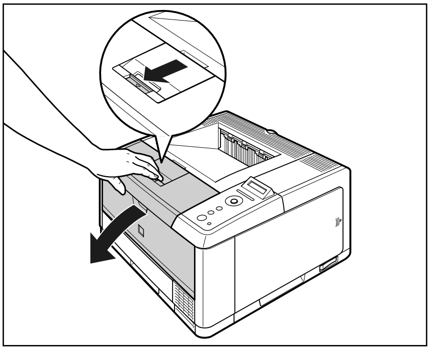


ペーパーフィーダが装着されている場合は、ペーパーフィーダの給紙カセットもセットします。

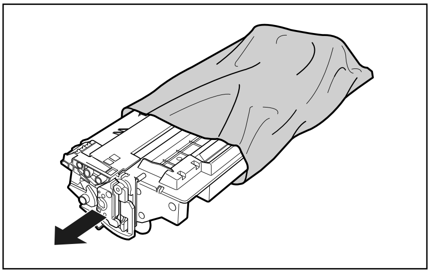


20 前カバーを開けます。

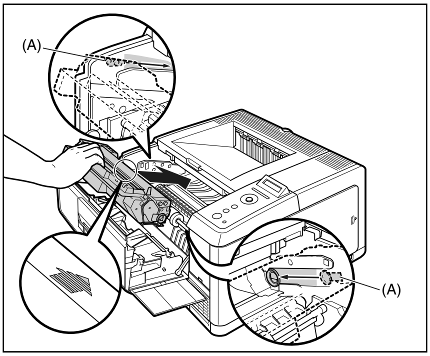
前カバー上面にあるレバーを押しながら、ゆっくりと開けます。



21 トナーカートリッジを保護袋から取り出します。

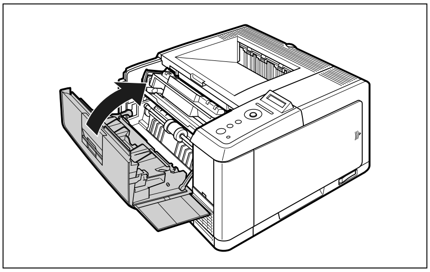


22 トナーカートリッジ左右の（A）を本体内部のトナーカートリッジガイドに合わせて、奥に当たるまで押し込みます。



23 前カバーを閉めます。

前カバーはカチッと音がするまで、ゆっくりと完全に閉めます。



Point

前カバーが閉まらないときは、トナーカートリッジの取り付け状態を確認してください。無理に前カバーを閉めると故障の原因になります。

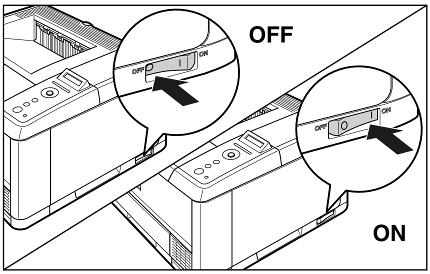
こんなメッセージが表示されたら

「Ennn-nnnn」、「F9-nn　チェックプリンタ」が表示されたときは

本プリンタの内部機構や印刷データ処理中にトラブルが発生した場合、次のようなサービスコールが表示されます。

メッセージ	原因	処置
Ennn-nnn （n は英数字）	プリンタの内部機構にトラブルが発生した。	次の手順にしたがって、電源を入れなおしてください。 数回電源を入れなおしてもメッセージが消えない場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。
E001-nnnn E003-nnnn （n は英数字）	定着器にトラブルが発生した。	次の手順2 以降にしたがって、お買い求めの販売店にご連絡ください。
F9-nn ﾁｪｯｸﾌﾟﾘﾝﾀ （n は英数字）	印刷データ処理中にトラブルが発生した。	次の手順にしたがって、電源を入れなおしてください。

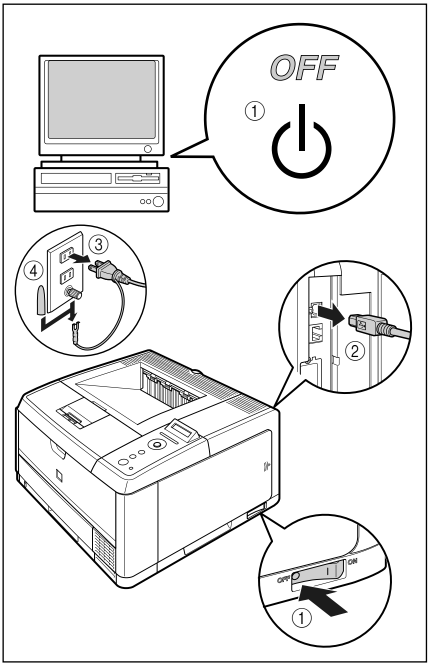
1 電源をいったんオフにし、10 秒以上待ってから電源をオンにしなおしてください。



メッセージが表示されない場合は、そのままご使用になれます。再度メッセージが表示された場合は、次の手順に進んでください。

2 ディスプレイに表示されている英数字とメッセージを書きとめます。

3 プリンタとコンピュータの電源をオフにし ①、USB ケーブルを抜き ②、電源プラグを電源コンセントから抜いて ③、アース線を専用のアース線端子から取り外します ④。



4 お買い求めの販売店にご連絡ください。

ご連絡の際には、症状およびメモしたコードナンバーをお知らせください。

不明な点がありましたら、「お客様相談センター」（裏表紙）にお問い合わせください。

メッセージ一覧

プリンタの使用中に、何らかの理由で印刷が不可能な状態（エラー状態）になると、ブザーが鳴り、メッセージランプが点灯してディスプレイにトラブル内容を示すエラーメッセージを表示します。

また、印刷に支障はないが何らかの処置が必要な状態（警告状態）になると、ディスプレイに警告メッセージを表示します。

これらのメッセージが表示されたときは、メッセージに応じて次のような処置を行ってください。

- 警告メッセージ の付いているメッセージは、メッセージが表示されている場合（警告状態が発生している場合）でも、プリンタは停止しません。
- 自動エラースキップ可 のマークが付いているメッセージは、［オンライン］を押すとエラーを回避（エラースキップ）して印刷を継続できますが、印刷データが欠落したり、正しく印刷されなかったりします。処理を中止したいときは、ソフトリセットの操作を行い、原因を取り除いてから、［オンライン］を押して再度印刷しなおしてください。また、このマークが付いているメッセージは、共通セットアップメニューの「自動エラースキップ」を「スル」に設定すると自動的にエラースキップさせることもできます。

● ユーザーズガイドにはメッセージごとの詳細な解決法が記載されています。メッセージが本書に記載されていなかったり、メッセージの詳細を知りたいときには、ユーザーズガイド第5 章「メッセージ一覧」をお読みください。

メッセージ	原因と処置
02　レイキャクチュウ	原因：連続印刷（特に幅の狭い用紙）によって定着器の温度が一定の温度を超えた 処置：そのまましばらくお待ちください。プリンタが自動的に定着器の冷却を行います。冷却が終了すると印刷を再開します。
0F　オプション　カクニン	原因：オプションのペーパーフィーダが正しく取り付けられていない 処置：電源をいったんオフにし、ペーパーフィーダを正しく取り付けてから電源をオンにしなおしてください。（→設置ガイド「第 3 章オプション品の取り付け」）
11　XXX ヨウシガアリマセン（XXX は用紙サイズ略号）	原因：給紙元にアプリケーションソフトから指定したサイズの用紙がセットされていない（給紙モードが「ジドウ」のときはすべての給紙元、固定のときは設定されている給紙元） 処置：用紙を補給またはセットしてください。
12　カバーガ　アイテイマス	原因：前カバーが開いている 処置：前カバーをしっかりと閉めます。オンライン状態になっていないときは、［オンライン］を押してください。
13　ヨウシガ　ツマリマシタ	原因：内部で紙づまりを起こしている 処置：紙づまりを除去し、給紙カセットやカバーを元に戻してください。オンライン状態になっていないときは、［オンライン］を押してください。（→紙づまりの処理：P.3-2）
14　トナー　ミソウチャク	原因：トナーカートリッジがセットされていない、または正しくセットされていない 処置：トナーカートリッジをセットする、または正しくセットしてください。（→トナーカートリッジを交換する：P.2-28）
16 トナー　ヨウイ 警告メッセージ	原因：トナーの残量が少なくなってきている 処置：少しの間はそのまま印刷を継続できますが、新しいトナーカートリッジを準備してください。大量に印刷するときや画像に白抜けが発生したときは、新しいトナーカートリッジに交換してください。前カバーを閉めたあと、オンライン状態になっていないときは、［オンライン］を押してください。（→トナーカートリッジを交換する：P.2-28）
16　トナー　カクニン	原因：トナーカートリッジの交換時期が近づいたとき 処置：［オンライン］を押します。少しの間はそのまま印刷を継続できますが、新しいトナーカートリッジを準備してください。大量に印刷するときや画像に白抜けが発生したときは、新しいトナーカートリッジに交換してください。前カバーを閉めたあと、オンライン状態になっていないときは、［オンライン］を押してください。（→トナーカートリッジを交換する：P.2-28）

18　キュウシ　エラー	原因：手差しトレイや給紙カセットから給紙できない用紙サイズまたは用紙タイプの用紙が指定されている 処置：給紙元を指定している場合は、［給紙選択］を押して、「給紙モード」を「ジドウ」に設定してください。
1G　トナー　カクニン 警告メッセージ	原因：トナーカートリッジが寿命に到達した、または一度寿命に到達した使用済みのトナーカートリッジがセットされている可能性がある 処置：トナーカートリッジに問題がないか確認してください。
1H　トナーセツゾクカクニン 警告メッセージ	原因：トナーカートリッジが正しく取り付けられていない可能性がある 処置：トナーカートリッジを取り出し、正しくセットしなおしてください。
23　ダウンロードメモリフル 自動エラースキップ可	原因：オーバレイフォームや外字などを登録するメモリが不足してオーバーフローした 処置：リセットメニューでソフトリセットしたあと､次のような方法でRAMの空き容量を増加し、データを登録しなおして印刷します。 ・ハードリセットをするか、プリンタの電源を入れなおす（メモリ内のデータはすべて消去されますので気を付けてください）。 ・オプションの拡張 RAM を取り付ける。(→ RAM/ROM：P.4-5)
26　システムメモリ　フル 自動エラースキップ可	原因：システムのデータ処理（主に図形処理や文字処理）時に、処理に必要なワークメモリが不足した 処置：リセットメニューでソフトリセットしたあと､次のような方法でRAMの空き容量を増加します。 ・ハードリセットするか、プリンタの電源を入れなおす（メモリ内のデータはすべて消去されますので気を付けてください）。 ・オプションの拡張 RAM を取り付ける。(→ RAM/ROM：P.4-5)
27　ジョブカイシ　エラー 自動エラースキップ可	原因：指定したエミュレーションが存在しない 処置：本プリンタに内蔵のエミュレーションを指定します。
30　メモリ　フル 自動エラースキップ可	原因：システムのデータ処理で、ワークメモリが不足した 処置：［オンライン］を押し、印刷を継続します。ただし、エラーが発生したデータは正しく印刷されないことがあります。
32　リョウメンインサツ　エラー 自動エラースキップ可	原因：自動両面印刷できない用紙サイズ（向きを含む）または用紙タイプの両面データを受信した 処置：リセットメニューでソフトリセットしたあと、自動両面印刷可能な用紙サイズあるいは用紙タイプに変更して、印刷しなおします。
33　ワークメモリ　フル 自動エラースキップ可	原因：各動作モード専用のワークメモリが確保できない 処置：リセットメニューでソフトリセットしたあと､次のような方法でRAMの空き容量を増加し、印刷しなおします。 ・ハードリセットをするか、プリンタの電源を入れなおす（プリンタが受信したメモリ内のデータは、すべて消去されますので気を付けてください）。 ・LIPS LX プリンタドライバをご使用の場合は､オプションの拡張 RAM を取り付ける。ただし、拡張 RAM を取り付けても問題が解決しない場合があります。(→RAM/ROM：P.4-5)
35　トウロクテーブル　フル 自動エラースキップ可	原因：1 つのジョブの中にあるドキュメント数が 16 を超えた 処置：［オンライン］を押し、印刷を継続します。ただし、エラーが発生したジョブは印刷されません。
38　ガシツ　テイカ 自動エラースキップ可	原因：データが複雑すぎて処理できない 処置：リセットメニューでソフトリセットしたあと、セットアップメニューの印字調整グループで「階調処理」を「ヒョウジュン」に設定し、印刷しなおします。(→ LIPS 機能ガイド「第 3 章共通セットアップメニューの設定項目」)
39　スプールメモリフル 自動エラースキップ可	原因：スプールメモリが不足したため、印刷できない 処置：［オンライン］を押し、印刷を継続します。ただし、エラーが発生したページは印刷されません。

41　ヨウシサイズ　カクニン 自動エラースキップ可	**原因：** 実際に手差しトレイや給紙カセットにセットした用紙サイズと、パソコンまたは操作パネルから設定した「手差しトレイ用紙サイズ」や「カセット 1 用紙サイズ」、「カセット 2 用紙サイズ」の設定が違っている **処置：**「手差しトレイ用紙サイズ」や「カセット 1 用紙サイズ」、「カセット 2 用紙サイズ」とセットした用紙のサイズを合わせ［オンライン］を押してください。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章共通セットアップメニューの設定項目」） **原因：** LIPS LX プリンタドライバを使用して、「手差しトレイ用紙サイズ」、「カセット 1 用紙サイズ」、「カセット 2 用紙サイズ」が「フリー」のときに、長辺が 215.9mm 以下の定形外の用紙を縦置きにセットして印刷した **処置：** 横置きにセットして印刷しなおします。
52　イメージモード　エラー 自動エラースキップ可	**原因：** イメージモードで印刷中に、対応していない形式のデータを受信した **処置：** イメージデータ形式に対応したプリンタドライバで印刷しなおします。
53　セキュアプリント　エラー 自動エラースキップ可	**原因：** LBP3410用でないプリンタドライバからセキュアプリントの設定をしたデータが送られてきた **処置：**［オンライン］を押して印刷をキャンセルします。
53　ホゾン　エラー 自動エラースキップ可	**原因：** LBP3410用でないプリンタドライバから保存ジョブプリントの設定をしたデータが送られてきた **処置：**［オンライン］を押して印刷をキャンセルします。
58　ジョブメモリ　フル 自動エラースキップ可	**原因：** ジョブを処理するための RAM の空き容量が不足している **処置：** 一度に複数のジョブを処理していた場合は、［オンライン］を押して印刷をキャンセルしたあと、他のジョブが終了するのを待って印刷しなおします。
59　ジョブジュシンエラー 自動エラースキップ可	**原因：** ジョブ受信中に解析不可能なデータを受信したかタイムアウトが発生した **処置：**［オンライン］を押して印刷をキャンセルしたあと、印刷しなおします。
96　サブハイシトレイカクニン／シメテ　クダサイ	**原因：** 自動両面印刷時にフェイスアップで排紙しようとした **処置：** サブ排紙トレイを閉めます。印刷が再開され、排紙トレイに排紙されます。
9F　トナー　カクニン 警告メッセージ	**原因：** 一度寿命に到達した使用済みのトナーカートリッジがセットされている可能性がある **処置：** トナーカートリッジに問題がないか確認してください。
A4　nn　ERROR （nn は 2 桁の英数字）	**原因：** プリンタに何らかの異常が起こり、正常に動かなくなった **処置：** 電源を入れなおしてください。電源を入れなおしても再度メッセージが表示された場合は、ディスプレイに表示されているメッセージを書きとめお買い求めの販売店にご連絡ください。
A5　nn　ERROR （nn は 2 桁の英数字）	**原因：** プリンタに何らかの異常が起こり、正常に動かなくなった **処置：** 電源を入れなおしてください。電源を入れなおしても再度メッセージが表示された場合は、ディスプレイに表示されているメッセージを書きとめお買い求めの販売店にご連絡ください。
A7　nn　ERROR （nn は 2 桁の英数字）	**原因：** プリンタに何らかの異常が起こり、正常に動かなくなった **処置：** 電源を入れなおしてください。電源を入れなおしても再度メッセージが表示された場合は、ディスプレイに表示されているメッセージを書きとめお買い求めの販売店にご連絡ください。
D0　nn　ERROR （nn は 2 桁の英数字）	**原因：** プリンタに何らかの異常が起こり、正常に動かなくなった **処置：** 電源を入れなおしてください。電源を入れなおしても再度メッセージが表示された場合は、ディスプレイに表示されているメッセージを書きとめお買い求めの販売店にご連絡ください。
D1　ブンカツメモリ　フル	**原因：** 分割印刷モード時に分割印刷用バッファがオーバーフローした **処置：** リセットメニューでソフトリセットをしたあと、HP-GL セットアップメニューの「分割印刷」を「シナイ」、「拡大／縮小」を「ジドウ」に設定し、出力用紙サイズを指定して印刷しなおします。ただし、作図データは拡大／縮小されて印刷されます。（→ HP-GL ユーザーズガイド）
D1　リプロットバッファフル	**原因：** リプロットバッファがオーバーフローした **処置：** リセットメニューでソフトリセットをしたあと、HP-GL　のリプロットバッファに保存するデータ数を 54206 バイト以内に設定し、印刷しなおします。（→ HP-GL ユーザーズガイド）
D1　ポリゴンバッファフル	**原因：** ポリゴンバッファがオーバーフローした **処置：** リセットメニューでソフトリセットをしたあと、HP-GL のポリゴンバッファに保存するデータ数を 40882 バイト以内に設定し、印刷しなおします。（→ HP-GL ユーザーズガイド）

D8　レイアウト　エラー	原因：メモリ不足によりページをレイアウトできない 処置：LIPS LX ドライバの［グラフィックモード］の設定を「イメージモード」にして印刷しなおしてください。（→ LIPS LX プリンタドライバのヘルプ）
D8　バージョン　エラー	原因：LBP3410 用でないプリンタドライバから印刷した 処置：LBP3410 用のプリンタドライバから印刷しなおしてください。
D8　シンタックス　エラー	原因：LIPS LX プリンタドライバを使用して印刷したときに、不正なデータが送られた 処置：［オンライン］を押して、次の印刷を継続します。ただし、エラーが発生したページ以降は印刷されません。
D8　nn　ERROR （nn は 2 桁の英数字）	原因：プリンタに何らかの異常が起こり、正常に動かなくなった 処置：電源を入れなおしてください。電源を入れなおしても再度メッセージが表示された場合は、ディスプレイに表示されているメッセージを書きとめお買い求めの販売店にご連絡ください。
D9　IMG　データ　エラー	原因：TIFF または JPEG データの中に、本プリンタでは処理できないデータが含まれている 処置：本プリンタでは印刷できないデータです。［オンライン］を押して、印刷をキャンセルします。
D9　IMG　サンショウ　エラー	原因：TIFF データの中に、本プリンタでは処理できないデータが含まれている 処置：本プリンタでは印刷できないデータです。［オンライン］を押して、印刷をキャンセルします。
D9　nn　ERROR （nn は 2 桁の英数字）	原因：プリンタに何らかの異常が起こり、正常に動かなくなった 処置：電源を入れなおしてください。電源を入れなおしても再度メッセージが表示された場合は、ディスプレイに表示されているメッセージを書きとめお買い求めの販売店にご連絡ください。
F2　フォント　ミジッソウ 自動エラースキップ可	原因：オーバレイフォームの作成に使用した登録フォントが、印刷時に消去されていた 処置：メモリに再度フォントを登録しなおすか、使用可能な登録フォントを使ってフォームを作り、印刷しなおします。
F9-nn　チェック　プリンタ （nn は 2 桁の英数字）	原因：印刷データ処理中にトラブルが発生した 処置：電源を入れなおしてください。電源を入れなおしても再度メッセージが表示された場合は、ディスプレイに表示されているメッセージを書きとめお買い求めの販売店にご連絡ください。
FF　フォント　フル 自動エラースキップ可	原因：登録するフォントの数が多すぎてフォントの情報を登録するための領域（フォントテーブル）がオーバーフローした 処置：［オンライン］を押し、印刷を継続します。ただし、エラーが発生したページは正しく印刷されません。
FM　サイズ　エラー 自動エラースキップ可	原因：擬似スケーラブル可能な大きさを超えた文字がある 処置：「オンライン」を押して、印刷を継続します。ただし、エラーが発生した文字は正しく印刷されません。
FM　ザヒョウテン　エラー 自動エラースキップ可	原因：擬似スケーラブルの輪郭座標点の点数が最大値を越えた文字がある 処置：「オンライン」を押して、印刷を継続します。ただし、エラーが発生した文字は正しく印刷されません。
PC　XXX　ヨウシニ　コウカン （XXX は用紙サイズ略号）	原因：アプリケーションソフトで設定したサイズの用紙が、プリンタの給紙カセットや手差しトレイにセットされていない、もしくは、違う用紙サイズの給紙元が選択されている 処置：選択されている給紙カセットにアプリケーションソフト（または拡大／縮小）で設定したサイズの用紙をセットしてください。（→給紙カセットに用紙をセットして印刷する：P.2-5）

正しく印刷できないときは

本プリンタの使用中に、トラブルと思われるような症状が起こったら、症状に応じて次のような処置をします。

印刷を行う前に、アプリケーションソフトの印刷プレビュー機能で、印刷データが画面に正常に表示されているかを確認してください。印刷プレビューの表示方法は、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

● ユーザーズガイドにはトラブルごとの詳細な解決法が記載されています。本書に記載されている確認作業を行っても解決できないときには、ユーザーズガイド第5章「正しい印刷結果が得られないときには」をお読みください。

症状	原因	処置
意味不明の半角文字が印刷される	動作モードの自動切り替えがうまく働かなかった	動作モードを目的のエミュレーションに固定して印刷しなおしてください。（→ LIPS 機能ガイド「第3章共通セットアップメニューの設定項目」）
	LIPS 専用セットアップメニューの漢字コードの設定が違っている	LIPS 専用セットアップメニューの漢字コードの設定をパソコンで使用している漢字コードに正しく合わせてください。（→ LIPS 機能ガイド「第4章 LIPS 専用セットアップメニューの設定項目」）
	付属のWindows 用 LIPS プリンタドライバをインストールせずにWindows から印刷した	付属のWindows 用LIPSプリンタドライバをインストールし、印刷しなおしてください。
	DOS アプリケーションソフトのプリンタ設定が適切でない	DOS アプリケーションソフトのプリンタ設定を、本プリンタと互換性のあるプリンタに再設定します。
	コントロールROM をセットして使用中に、動作モードの自動切り替えができなかった	動作モードを、プリンタ本体にセットしたコントロールROM のエミュレーションに固定し、インタフェースの設定を、パソコンと接続しているインタフェースに固定して印刷しなおしてください。（→ LIPS 機能ガイド「第3章共通セットアップメニューの設定項目」）
指定した書体と違う書体で印字される	Windows用 LIPS IV プリンタドライバでTrueType フォントの置き換えが設定されている	Windows 用 LIPS IV プリンタドライバで TrueType フォントの置き換えを正しく設定しなおし、印刷しなおしてください。（→プリンタドライバのヘルプ）
白紙のページが印刷されない	LIPS4 セットアップメニューまたはLIPS LXセットアップメニューの「白紙節約」が「スル」になっている	白紙のページを印刷するときは、「白紙節約」を「シナイ」に設定します。（→ LIPS 機能ガイド「第4章 LIPS 専用セットアップメニューの設定項目」）
最後のページが印刷できない	パソコンからデータの終わりを表すコマンドが送られて来ない（ジョブランプが点灯している）	[オンライン] を押してオフラインの状態にし、リセットメニューで「ハイシュツ」を選択します（印刷機能のないアプリケーションソフトで印刷した場合、最後のページのデータが1ページに満たないと、そのままメモリ内に残ってしまいます）。（→印刷の中止方法：P.1-6）

データが用紙をはみだした	LIPS LX プリンタドライバを使用して、「手差しトレイ用紙サイズ」、「カセット 1 用紙サイズ」、「カセット 2 用紙サイズ」が「フリー」のときに、長辺が 215.9mm 以下の定形外の用紙を縦置きにセットして印刷した	横置きにセットして印刷しなおします。
	LIPS LX プリンタドライバを使用せずに、定形外の用紙を横置きにセットして印刷した	縦置きにセットして印刷しなおします。
	データのサイズより小さな用紙をセットした	データのサイズに合った用紙をセットするか、用紙サイズに合わせた縮小率で縮小印刷をしてください。(→ LIPS 機能ガイド「第4章LIPS専用セットアップメニューの設定項目」)
	用紙をセットする位置が合っていない	用紙を正しくセットし、印刷しなおしてください。(→給紙カセットに用紙をセットして印刷する：P.2-5、手差しトレイに用紙をセットして印刷する：P.2-11)
	余白なしで、用紙いっぱいのデータを印刷した	本プリンタの有効印字領域は用紙の周囲 5mm（封筒は 10mm。LIPS LX プリンタドライバを使用する場合の洋形 4 号と洋形 2 号の右は 7.6mm）の範囲を除いた領域です。データの周囲に余白を取ってください。
		LIPS プリンタドライバの［仕上げ詳細］ダイアログで「印字領域を広げて印刷する」にチェックすると、印字領域を広げて印刷します。ただし、データの周囲が欠けて印字されることがあります。
	ESC/P　モードの「ページフォーマット」の設定が合っていない	ESC/P モードの「ページフォーマット」を正しく設定し、印刷しなおしてください。(→ LIPS 機能ガイド)
	セットアップメニューのユーザメンテナンスグループの「印字位置調整」で印字位置が調整されている	セットアップメニューのユーザメンテナンスグループの「印字位置調整」で適切な値に調整してください。(→ユーザーズガイド「第４章「印字位置の調整する」)
印字位置がずれてしまう	セットアップメニューのレイアウトグループの「とじしろ」、「縦位置補正」、「横位置補正」が設定されている	セットアップメニューのレイアウトグループの「とじしろ」、「縦位置補正」、「横位置補正」の設定を「0」に設定し、印刷しなおします。(→ LIPS 機能ガイド「第３章共通セットアップメニューの設定項目」)
	アプリケーションソフトの「上余白」や「用紙位置」の設定が合っていない	アプリケーションソフトの「上余白」や「用紙位置」を正しく設定し、印刷しなおしてください。(→アプリケーションソフトの取扱説明書)
	ESC/P モードの「上余白」や「用紙位置微調整」の設定が合っていない	ESC/P モードの「上余白」や「用紙位置微調整」を正しく設定し、印刷しなおしてください。(→ LIPS 機能ガイド)
	セットアップメニューのユーザメンテナンスグループの「印字位置調整」で印字位置が調整されている	セットアップメニューのユーザメンテナンスグループの「印字位置調整」で適切な値に調整してください。(→ユーザーズガイド「第４章「印字位置の調整する」)
印字位置がだんだんずれていく	ESC/P モードを使用しているときに、ページフォーマットの設定とアプリケーションソフトで設定した用紙の種類が合っていない	アプリケーションソフトの用紙の種類とページフォーマットの設定を合わせて印刷しなおします。(→ユーザーズガイド「第２章「動作モードについて」)
ページの途中から次ページに分かれて印刷される	アプリケーションソフトの「行間」や「1 ページの行数」の設定が合っていない	1 ページに収まるように、アプリケーションソフトの印刷指定で「行間」や「1 ページの行数」を変更してから印刷しなおします。(→アプリケーションソフトの取扱説明書)
	セットアップメニューの動作モードグループで「動作モード選択」が「ジドウセンタク」に設定されているときに、セットアップメニューのインタフェースグループの「タイムアウト」の設定秒数が短すぎる	セットアップメニューの動作モードグループで「動作モード選択」を「ジドウセンタク」以外に設定するか、「タイムアウト」の設定秒数を十分に長くします。(→ LIPS 機能ガイド「第３章共通セットアップメニューの設定項目」)

縮小されて印刷される	縮小印刷の設定がされている	LIPS セットアップメニューの「拡大／縮小」を「シナイ」にしてください。（→ LIPS 機能ガイド「第 4 章 LIPS 専用セットアップメニューの設定項目」）
		プリンタドライバの「拡縮率」の設定を確認してください。
	ESC/P モードで使用しているときに、ページフォーマットが「B4→ A4 タテ」「B4→A4 ヨコ」に設定されている	ESC/P モードの「ページフォーマット」を正しく設定し、印刷しなおしてください。（→ LIPS 機能ガイド「第 5 章 ESC/P 専用セットアップメニューの設定項目」）
用紙にしわがよる	給紙カセットや手差しトレイに用紙が正しくセットされていない	給紙カセットや手差しトレイに用紙を正しくセットしてください。（→給紙カセットに用紙をセットして印刷する：P.2-5、手差しトレイに用紙をセットして印刷する：P.2-11）
	用紙の保管状態が悪く、吸湿している	新しい用紙に交換し、印刷しなおしてください。（→用紙について：P.2-2）
用紙がカールする	用紙の保管状態が悪く、吸湿している	新しい用紙に交換し、印刷しなおしてください。（→用紙について：P.2-2）
	用紙が適切でない	本プリンタで使用できる用紙と交換してください。（→用紙について：P.2-2）
	薄手の用紙を使用している	プリンタドライバで［用紙タイプ］を［普通紙 L］に設定します。 ［用紙タイプ］の設定は、[給紙] ページで行います。
	カールしやすい用紙を排紙トレイに排紙している	カールしやすい OHP フィルムや封筒などに印字するときは、サブ排紙トレイに切り替えます。（→ユーザーズガイド「第 3 章「排紙先について」）
用紙が真っ白で何も印刷されない	シーリングテープを引き抜かずにトナーカートリッジをセットした	トナーカートリッジを取り出し、シーリングテープを抜き取ってセットしなおしてください。（→トナーカートリッジを交換する：P.2-28）
	用紙が重なって送られた	給紙カセットや手差しトレイの用紙を、よく揃えてからセットしなおしてください。OHP フィルム、ラベル用紙の場合は、よくさばいてセットしなおしてください。（→給紙カセットに用紙をセットして印刷する：P.2-5、手差しトレイに用紙をセットして印刷する：P.2-11）
	プリンタ内部でトラブルが発生している	ディスプレイに「Ennn-nnnn」が表示されているときは、電源をいったんオフにし、10 秒以上待ってから電源をオンにしなおしてください。メッセージが消えることがあります。
		上記の操作をしてもメッセージが消えないときは、お買い求めの販売店に連絡し、修理を依頼してください。
印刷した OHP フィルムに白い粉がつく	OHP フィルム以外の用紙を連続印刷したあとに OHP フィルムを印刷した	OHP フィルム以外の用紙を連続して印刷したあとに、OHP フィルムを印刷すると紙粉が付着して排紙される場合があります。このような場合は、やわらかい布で紙粉をこすり、取り除いてください。
白いすじが入る	トナーがなくなった	新しいトナーカートリッジに交換してください。（→トナーカートリッジを交換する：P.2-28）
	トナーカートリッジ内のドラムが劣化している	新しいトナーカートリッジに交換してください。（→トナーカートリッジを交換する：P.2-28）
部分的に白く抜ける	適切な用紙を使用していない	使用できる用紙に交換し、印刷しなおしてください。（→用紙について：P.2-2）
	用紙の保管状態が悪く、吸湿している	新しい用紙に交換し、印刷しなおしてください。（→用紙について：P.2-2）
	トナーカートリッジ内のドラムが劣化している	新しいトナーカートリッジに交換してください。（→トナーカートリッジを交換する：P.2-28）
印字が全体的にうすい	トナー濃度の設定が適当でない	セットアップメニューの印字調整グループで、「トナー濃度」を調節してください。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章共通セットアップメニューの設定項目」）
	セットアップメニューの印字調整グループで、「ドラフトモード」が「ツカウ」に設定されている	セットアップメニューの印字調整グループで、「ドラフトモード」を「ツカワナイ」に設定してください。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章共通セットアップメニューの設定項目」）

印字が全体的に黒ずむ	トナー濃度の設定が適当でない	セットアップメニューの印字調整グループで、「トナー濃度」を調節してください。(→ LIPS 機能ガイド「第 3 章共通セットアップメニューの設定項目」)
	プリンタが直射日光または強い光が当たる場所に設置されている	プリンタを直射日光または強い光が当たらない場所に移動してください。あるいは、強い光を出す光源をプリンタから離してください。
印字ムラが出る	トナーがなくなった	新しいトナーカートリッジに交換してください。(→トナーカートリッジを交換する：P.2-28)
	用紙が湿っている、あるいは乾燥している	適切な用紙に交換し、印刷しなおしてください。(→用紙について：P.2-2)
	トナーカートリッジが劣化、あるいは損傷している	新しいトナーカートリッジに交換してください。(→トナーカートリッジを交換する：P.2-28)
印刷した用紙の表面や裏面に黒点状の汚れが付着する	定着ローラが汚れている	定着ローラを清掃してください。(→定着ローラを清掃する：P.2-32)
ページの一部が印刷されない	拡大／縮小率の設定が適当でない	プリンタドライバで［倍率を指定する］のチェックマークを消します。チェックマークを消すと、［原稿サイズ］と［出力用紙サイズ］に応じて拡大／縮小率が自動的に設定されます。［倍率を指定する］の設定は、［ページ設定］ページで行います。
		プリンタドライバで［倍率を指定する］のチェックマークを付け、使用する用紙サイズに適した倍率を設定します。［倍率を指定する］の設定は、［ページ設定］ページで行います。
	用紙をセットする位置が合っていない	用紙を正しくセットしてください。(→給紙カセットに用紙をセットして印刷する：P.2-5、手差しトレイに用紙をセットして印刷する：P.2-11)
	余白なしで、用紙いっぱいのデータを印刷した	本プリンタの有効印字領域は用紙の周囲 5mm（封筒は 10mm。LIPS LX プリンタドライバを使用する場合の洋形 4 号と洋形 2 号の右は 7.6mm）の範囲を除いた領域です。データの周囲に余白を取ってください。
		LIPS プリンタドライバの［仕上げ詳細］ダイアログで「印字領域を広げて印刷する」にチェックすると、印字領域を広げて印刷します。ただし、データの周囲が欠けて印字されることがあります。
用紙全面が真っ黒に印刷される	トナーカートリッジ内のドラムが劣化している	新しいトナーカートリッジに交換してください。(→トナーカートリッジを交換する：P.2-28)
定着性が悪い	用紙が適切でない	本プリンタで使用できる用紙と交換してください。(→用紙について：P.2-2)

プリンタが動作しない・印刷できないときは

本プリンタが動作しない、キー操作ができない、データ送信できないなど正常に動作しないときは、以下の確認を行ってください。

● ユーザーズガイドにはトラブルごとの詳細な解決法が記載されています。本書に記載されている確認作業を行っても解決できないときには、ユーザーズガイド第 5 章「正しい印刷結果が得られないときには」をお読みください。

症状	原因	処置
電源が入らない	電源プラグが電源コンセントから抜けている	電源プラグを電源コンセントに差し込みます。
	延長コードを使用したりタコ足配線をしている	壁の電源コンセントに直接電源プラグを差し込みます。
	ブレーカが落ちている	配電盤のブレーカをオンにします。
	電源コード内部で断線している	同じタイプの他の装置に使用している電源コードに交換してみて、電源が入るようであれば電源コード内部の断線です。新しい電源コードを購入の上交換してください。
プリンタが動かない	オフラインになっている	［オンライン］を押し、オンラインランプを点灯します。（→ユーザーズガイド「第 2 章オンラインとオフライン」）
	メモリ内にデータが残っている（ジョブランプが点灯している）	［オンライン］を押してオフラインにし、リセットメニューで「ハイシュツ」を選択してメモリ内に残っているデータを出力します。（→印刷の中止方法：P.1-6）
	インタフェースケーブルが外れている	インタフェースケーブルをパソコンおよびプリンタ本体のインタフェース接続部にしっかりと接続します。（→設置ガイド「第 2 章プリンタの設置」）
	本プリンタやオプション品に故障がある	ディスプレイのメッセージを見て、処置します。（→こんなメッセージが表示されたら：P.3-8）
プリントサーバのランプがすべて消灯している	LAN ケーブルが正しく取り付けられていない、または断線している	LAN ケーブルを一度取り外し、接続しなおします。
		他の LAN ケーブルに交換し、接続しなおします。
	ハブの UP-LINK（カスケード）ポートに接続している	ハブの“X”マークのあるポートに接続しなおします。
		ハブに UP-LINK（カスケード）スイッチがある場合は、“X”側に切り替えます。
	クロスタイプの LAN ケーブルを使っている	ストレートタイプの LAN ケーブルと交換します。
		クロスタイプの LAN ケーブルをハブの UP-LINK（カスケード）ポートに接続します。ハブに UP-LINK（カスケード）スイッチがある場合は“=”側にします。
	ハブと通信できない	ハブの電源がオンになっていることを確認します。
		接続したハブの通信速度に合わせてプリントサーバの通信設定をします。（→ LIPS 機能ガイド「第 3 章共通セットアップメニューの設定項目」）
		ハブを交換します。
	プリントサーバのハードウェアに異常がある	お買い求めの販売店に状況を連絡してください。
印刷が途中で止まってしまった	メモリ内にデータが残っている（ジョブランプが点灯している）	［オンライン］を押してオフラインにし、リセットメニューで「ハイシュツ」を選択してメモリ内に残っているデータを出力します。（→印刷の中止方法：P.1-6）
操作パネルのランプがつかない	電源がオンになっていない	電源をオンにしてください。
	スリープモードになっている	印刷データを送るか、操作パネルのキーをどれか押すと印刷可能な状態に戻ります。
操作パネルのキーが機能しない	メモリ内にデータが残っている（ジョブランプが点灯している）	［オンライン］を押してオフラインにし、リセットメニューで「ハイシュツ」を選択します。（→印刷の中止方法：P.1-6）
	キーロック機能が働いている（キーを押すとピーという警告音が鳴り、ディスプレイに「キー　ロック　チュウ」と表示される）	リモート UI からキーロック機能を解除します。プリンタの管理者にご連絡ください。

印刷するたびに紙づまりが起こる	給紙カセットや手差しトレイにセットした用紙が積載制限を超えている	用紙を積載制限の範囲内まで減らし、印刷しなおしてください。（→給紙カセットに用紙をセットして印刷する：P.2-5、手差しトレイに用紙をセットして印刷する：P.2-11）
	給紙カセットや手差しトレイに用紙が正しくセットされていない	用紙を正しくセットしなおし、印刷しなおしてください。（→給紙カセットに用紙をセットして印刷する：P.2-5、手差しトレイに用紙をセットして印刷する：P.2-11）
	給紙カセットや手差しトレイに使用できない用紙がセットされている	使用できる用紙に交換し、印刷しなおしてください。（→用紙について：P.2-2）
	LIPS LX プリンタドライバを使用して、「手差しトレイ用紙サイズ」、「カセット 1 用紙サイズ」、「カセット 2 用紙サイズ」が「フリー」のときに、長辺が 215.9mm 以下の定形外の用紙を縦置きにセットして印刷した	横置きにセットして印刷しなおします。
	LIPS LX プリンタドライバを使用せずに、定形外の用紙を横置きにセットして印刷した	縦置きにセットして印刷しなおします。
	紙づまり処理が不完全である	紙づまりを除去し、印刷しなおしてください。（→紙づまりの処理：P.3-2）

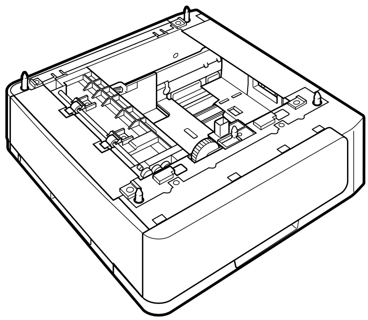
オプションの設置

Chapter

4

ペーパーフィーダ

ペーパーフィーダは、プリンタ本体の底面に取り付けて使用します。

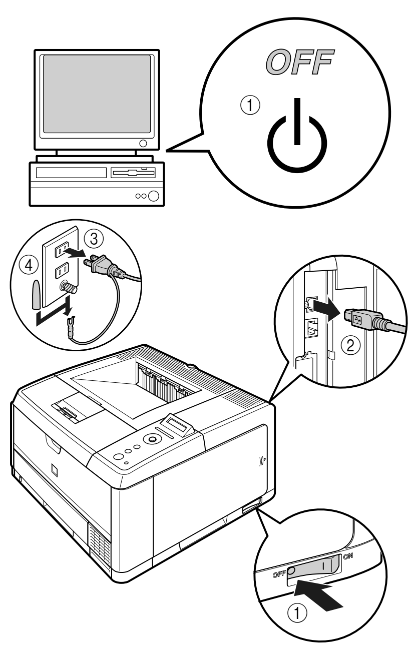


ペーパーフィーダユニットPF-36

プリンタ本体を移動する

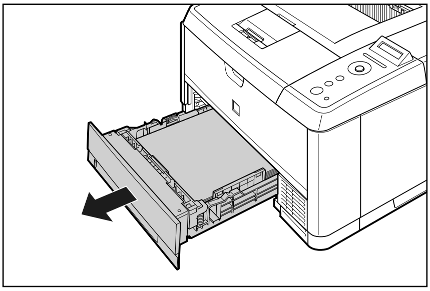
プリンタ設置後に、ペーパーフィーダを取り付けるときは、次の手順でプリンタをいったん適切な場所に移動させます。

1 プリンタとコンピュータの電源をオフにし①、USB ケーブルを抜き②、電源プラグを電源コンセントから抜いて③、アース線を専用のアース線端子から取り外します④。



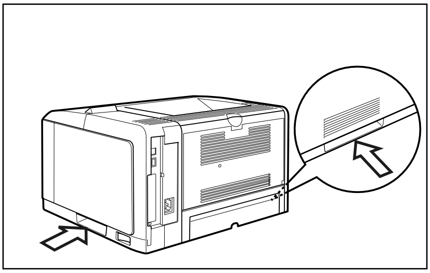
2 すべてのインタフェースケーブルや電源コードを取り外します。

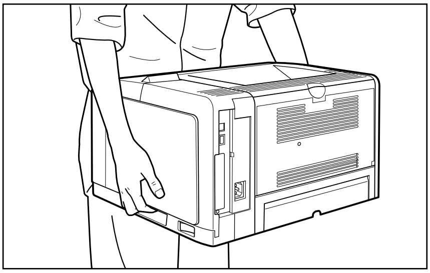
3 給紙カセットを引き出します。



4 プリンタ本体を設置場所から移動します。

プリンタ本体下部にある運搬用取っ手に、プリンタ前面から手を掛け、両手でしっかり持ってください。



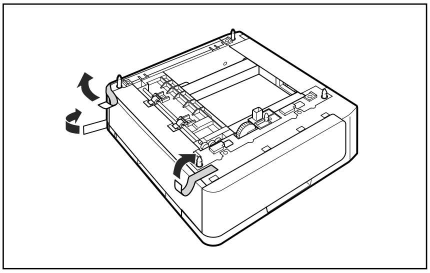


梱包材を取り外し、ペーパーフィーダを取り付ける

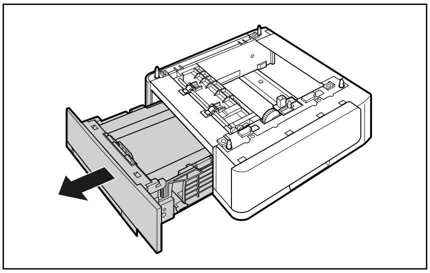
ペーパーフィーダは、プリンタ本体の底面に取り付けます。

* 梱包材は予告なく位置・形状が変更されたり、追加や削除されることがあります。

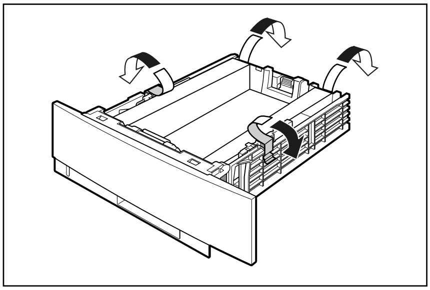
1 給紙カセットを止めているテープを取り外します。



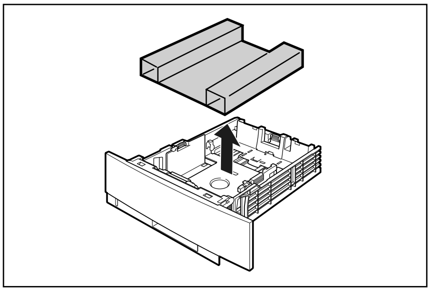
2 ペーパーフィーダから、給紙カセットを引き出します。



3 給紙カセット内部の梱包材を止めているテープ(4箇所)を取り外します。

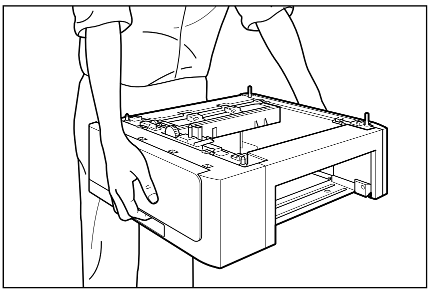


4 給紙カセットに付いている梱包材を取り外します。



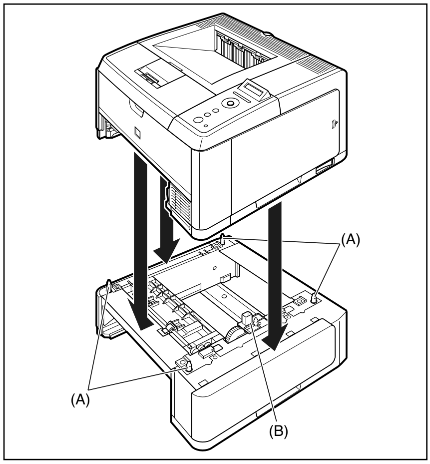
5 ペーパーフィーダを設置場所に置きます。

ペーパーフィーダを持ち運ぶときは、両手で左右の運搬用取っ手を持って運んでください。



6 プリンタ本体をペーパーフィーダの両側面や前面に合わせてゆっくりと載せます。

プリンタ本体を載せるときは、位置決めピン(A)やコネクタ(B)も合わせてください。



7 給紙カセットをプリンタ本体、ペーパーフィーダにセットします。

8 USB ケーブル以外のインタフェースケーブルや電源コードを接続します。

9 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

10 USBケーブルを接続します。

Point

ペーパーフィーダの設置後、はじめて給紙カセットに用紙をセットするときは、必ずプリンタの電源を一度入れてから行ってください。

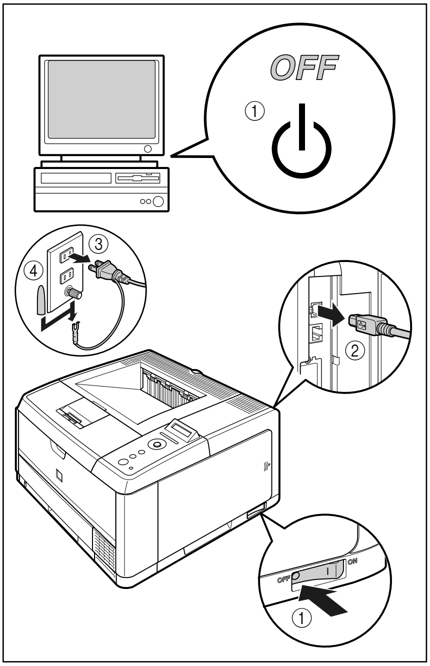
RAM/ROM

拡張 RAM、コントロール ROM は、プリンタ右側のメインボードに取り付けて使用します。取り付けたあと、必要に応じて RAM や ROM を設定します。

RAM/ROM を取り付ける

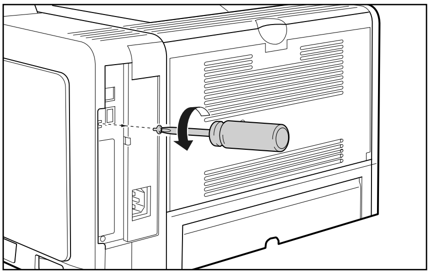
RAM と ROM は、次の手順でプリンタ本体のメインボードに取り付けます。取り付け作業には、プラスドライバが必要です。あらかじめネジに合ったサイズのものをご用意ください。

1 プリンタとコンピュータの電源をオフにし①、USB ケーブルを抜き②、電源プラグを電源コンセントから抜いて③、アース線を専用のアース線端子から取り外します④。



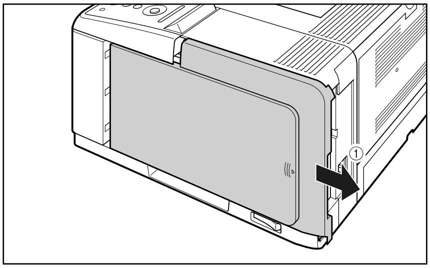
2 すべてのインタフェースケーブルや電源コードを取り外します。

3 プリンタ背面の右カバーを止めているネジを取り外します。

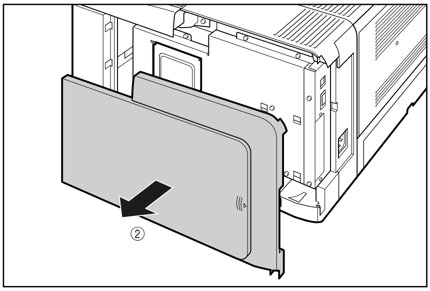


4 右カバーを取り外します。

右カバーを矢印の方向にスライドさせます①。

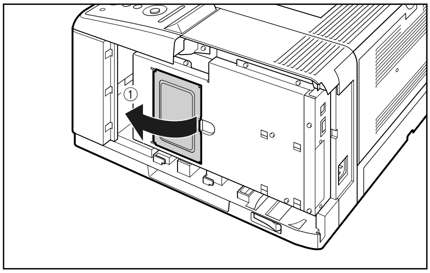


右カバーを取り外します②。

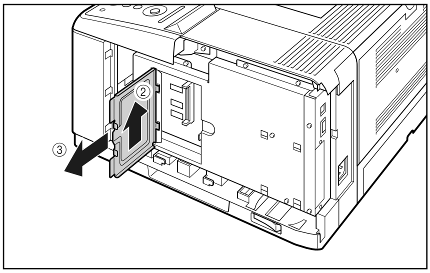


5 スロットカバーを取り外します。

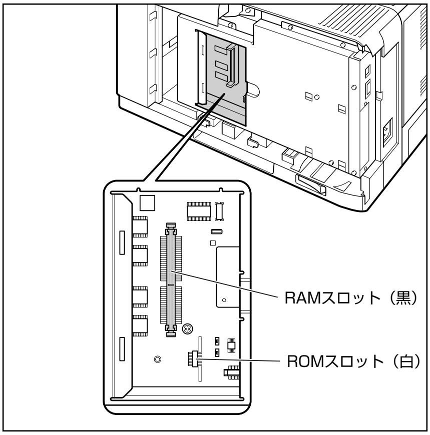
スロットカバーを開けます①。



スロットカバーを少し持ち上げて②、矢印の方向にスロットカバーを取り外します③。



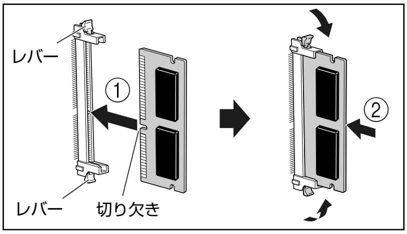
RAM や ROM の取り付ける位置は以下のとおりです。取り付け位置を確認してから RAM や ROM を取り付けてください。



6 RAM や ROM を取り付けます。

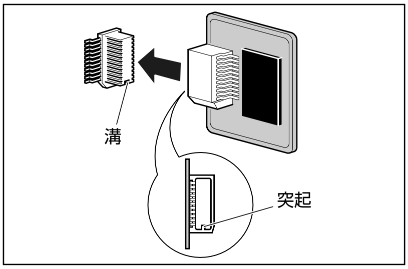
● RAM を取り付ける場合

a 黒色の RAM スロットへ図のように切り欠きに合わせて差し込み①、奥までしっかりと押し込みます②。

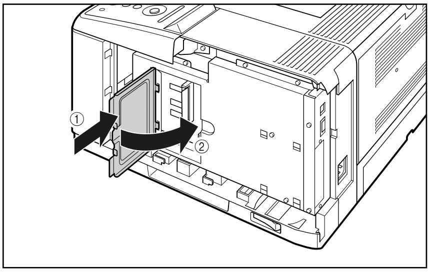


● ROM を取り付ける場合

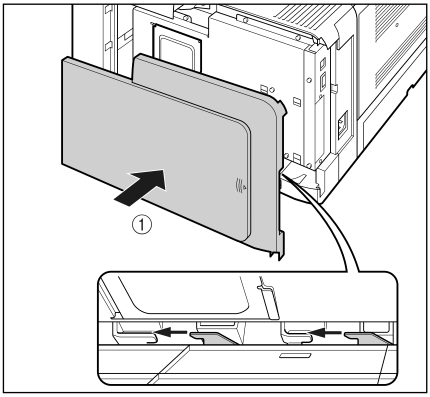
a ROM　の突起とコネクタの溝を合わせて、奥までしっかりと押し込みます。

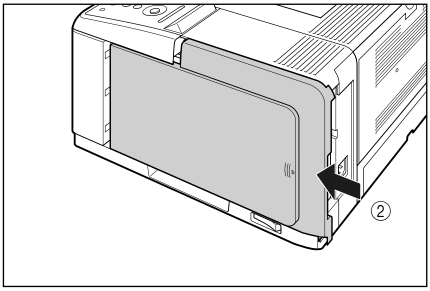


7 スロットカバーを取り付けて①、閉めます②。

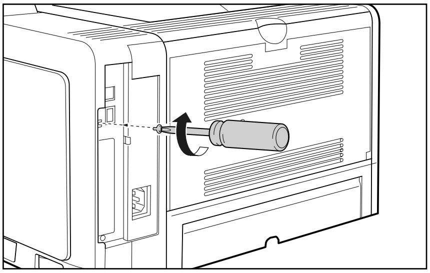


8 図のように右カバーを取り付けて①、スライドさせます②。





9 右カバーをネジで固定します。



10 USB　ケーブル以外のインタフェースケーブルや電源コードを接続します。

11 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

12 USB ケーブルを接続します。

RAM/ROM の設定について

RAM や ROM を取り付けたあとは、必要に応じて次の設定を行ってください。

拡張 RAM　→　必要に応じてメニューの印字調整グループの設定を行ってください。

コントロール ROM　→　メニュー機能で設定します。

お役立ち情報

Chapter

5

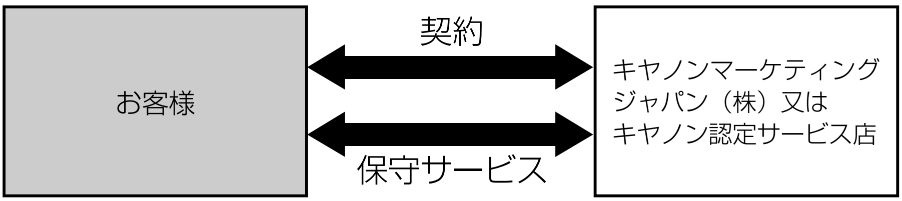
保守サービスのご案内

●ご購入製品をいつまでもベストの状態でご使用いただくために

このたびはレーザビームプリンタをご購入いただき誠にありがとうございます。さて、毎日ご愛用いただくレーザビームプリンタの保守サービスとして、「キヤノン保守契約制度」と「キヤノンサービスパック」を用意しています。これらはキヤノン製品を、いつも最高の状態で快適に、ご使用いただけますように充実した内容となっており、キヤノン認定の「サービスエンジニア」が責任をもって機能の維持管理等、万全の処置を行います。お客様と、キヤノンをしっかりとつなぐ保守サービスで、キヤノン製品を末永くご愛用賜りますようお願い申しあげます。

キヤノン保守契約制度とは

キヤノン製品をご購入後、定められた無償修理保証期間中に万一発生したトラブルは無償でサービスを実施します。保守契約制度とは、この無償保証期間の経過後の保守サービスを所定の料金で実施するシステムです。(製品により無償修理保証期間が異なります。また、一部無償修理保証期間を設けていない製品もあります。)



キヤノン保守契約制度のメリット

●都度の修理料金は不要

保守契約料金には、訪問料、技術料、部品代が含まれています。

万一のトラブル時も予期せぬ出費が発生することがありません。

●保守点検の実施

お客様のご要望により、機器の保守点検を追加できます。(別途、有料となります。)

キヤノンサービスパックとは

キヤノン製品を長期間にわたって、安心してご使用いただくための保守サービスを、お手軽にご購入できるようパッケージ化した新しいタイプのサービス商品です。対象のキヤノン製品をご購入後、3 年間、4 年間、5 年間のタイプを用意しています。（無償修理保証期間を含みます）

キヤノンサービスパックのメリット

●**簡単登録**

従来の保守契約とは違い、面倒な手続きは一切不要。キヤノンサービスパックを購入後、登録カードをご送付いただくだけで手続きは完了します。

●**電話一本**

万一のトラブルが発生したときは、キヤノンサービスコールセンターにお電話にてお客様 ID とトラブルの内容をお知らせいただくだけで、迅速に対応します。

●**固定料金**

キヤノンサービスパックのご購入料金が、期間中のサービス料金に相当します。予期せぬ出費が防げるため、予算計画も立てやすくなります。

キヤノンサービスパックのサービス範囲

故障時の修理・調整：	故障が発生した場合、その修理・調整をおこないます。
修理料：	修理時に発生する訪問料金・技術料・部品代はキヤノンサービスパック料金に含まれます。（消耗品およびキヤノン指定の部品は対象外となります）
保守期間：	対象製品購入後、3年間、4年間、5年間です。（保証期間を含みます）

なお、天災、火災、第三者の改造等に起因するトラブルや消耗品代、キヤノン指定の部品代は、「キヤノン保守契約制度」と「キヤノンサービスパック」ともに対象外となります。

「キヤノン保守契約制度」と「キヤノンサービスパック」に関するお申し込み、お問合せはお買い上げの販売店もしくはキヤノンマーケティングジャパン（株）までお願いいたします。

キヤノンサービスパックの登録有効期間は、本体ご購入後 90 日以内となります。

補修用性能部品

本機の補修用性能部品の最低保有期間は、本機製造打ち切り後 7 年間です。

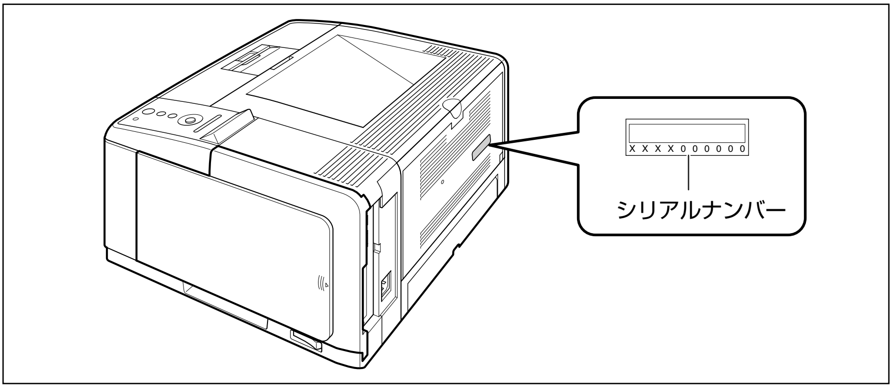
無償保証について

- 本製品の無償保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。
- 無償保証の保守サービスをお受けになるためには、本製品に同梱の保証書が必要です。あらかじめ保証書の記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

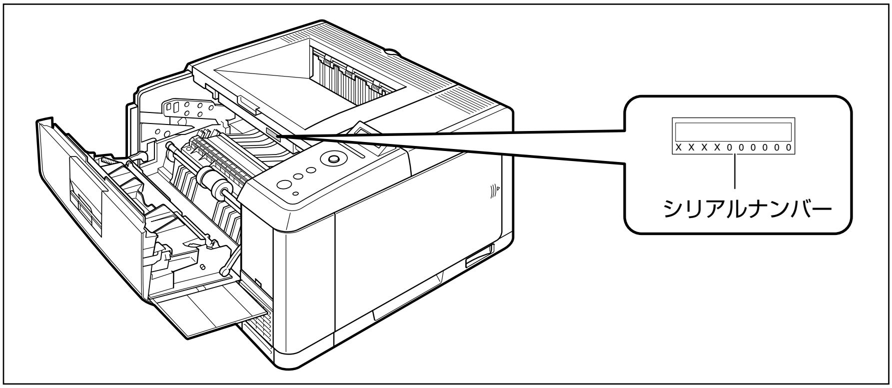
シリアルナンバーの表示位置について

本プリンタの保守サービスをお受けになるときは、シリアルナンバー (Serial No.) が必要になります。本プリンタのシリアルナンバーは、下図の位置に表示されています。

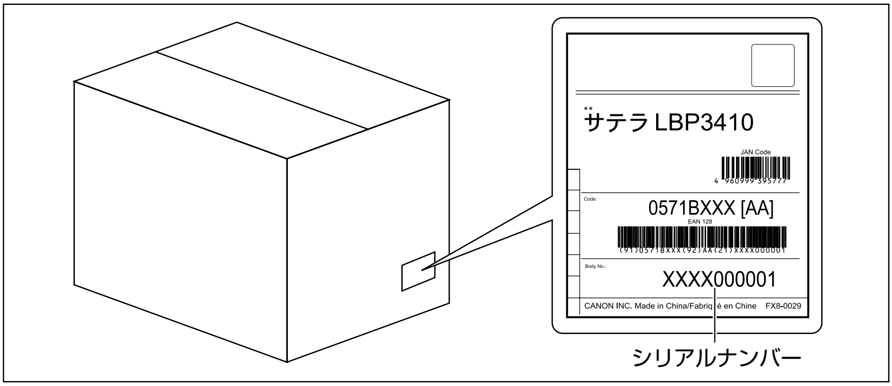
●本体背面



●プリンタ内部



●梱包箱外側



ソフトウェアのバージョンアップについて

プリンタドライバなどのソフトウェアに関しては、今後、機能アップなどのためのバージョンアップが行われることがあります。バージョンアップ情報およびソフトウェアの入手窓口は次のとおりです。ソフトウェアのご使用にあたっては、各使用許諾契約の内容について了解いただいたものとさせていただきます。

情報の入手方法

インターネットを利用して、バージョンアップなど、製品に関する情報を引き出すことができます。通信料金はお客様のご負担になります。

●キヤノンホームページ (http://canon.jp/)

商品のご紹介や各種イベント情報など、さまざまな情報をご覧いただけます。

ソフトウェアの入手方法

ダウンロードにより、プリンタドライバなどの最新のソフトウェアを入手することができます。通信料金はお客様のご負担になります。

●キヤノンホームページ (http://canon.jp/)

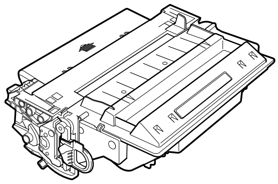
キヤノンホームページにアクセス後、ダウンロードをクリックしてください。

消耗品の一覧

消耗品

本プリンタでは、消耗品として以下のものが用意されています。消耗品は、本プリンタをお買い求めの販売店などでお買い求めください。

消耗品は、以下の表の記載を目安に交換してください。ただし、プリンタの設置環境や印刷する用紙サイズにより、記載の寿命より早く交換が必要になる場合があります。

消耗品	交換の目安	用途
トナーカートリッジ 	• Canon Cartridge 510 （キヤノン　トナーカートリッジ　５１０）: 約 6000 ページ • Canon Cartridge 510 II （キヤノン　トナーカートリッジ　５１０　II）: 約 12000 ページ	印刷するデータを現像して転写するための部品です。 (→トナーカートリッジを交換する：P.2-28)

設置場所について

本プリンタを安全かつ快適にご使用いただくために、「設置環境」に記載されている「温度／湿度条件」、「電源条件」、「設置条件」を満たした場所に設置してください。

設置環境

本プリンタの設置場所は、次の環境条件を考慮の上、お選びください。

温度／湿度条件

温度、湿度が次の範囲内の場所でご使用ください。

- 周囲温度：10 ～ 32.5 ℃
- 周囲湿度：20 ～ 80%RH（結露のないこと）

●超音波加湿器をご使用のお客様へ

超音波加湿器をご使用の際に、水道水や井戸水をご使用になりますと、水中の不純物が大気中に放出され、プリンタの内部に付着して画像不良の原因となります。ご使用の際には、純水など不純物を含まない水のご使用をおすすめします。

電源条件

本プリンタの最大消費電力は 946W* 以下です（AC100V ± 10%、50/60Hz ± 2Hz）。電気的なノイズや許容範囲を超える電源電圧の降下は、本プリンタだけでなく、パソコン本体の誤作動やデータ消失の原因になることがあります。

＊この値は起動時の瞬間的なピークを除いた値です。

電源を接続するときは、次の事項をお守りください。

- 必ず 15A 以上の電源コンセントに、プリンタの電源を接続してください。
- アース線を接続してください。

お使いの電源について不明な点があれば、ご契約の電力会社またはお近くの電気店などにご相談ください。

設置条件

本プリンタは、次のような場所に設置してください。

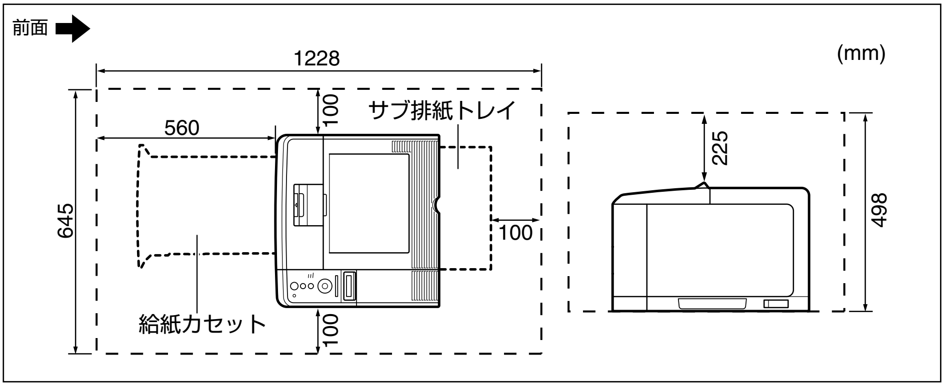
- 十分なスペースが確保できる場所
- 風通しがよい場所
- 平坦で水平な場所
- 本プリンタおよびオプション品の質量に耐えられる十分な強度のある場所

設置スペース

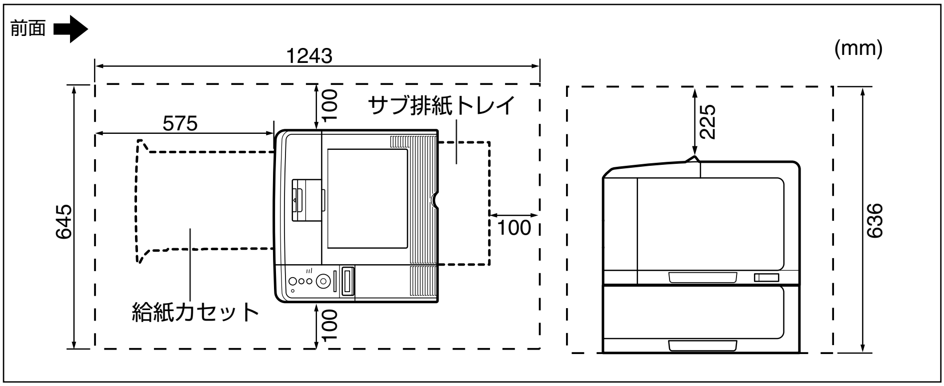
本プリンタの周囲には、次のような空間を確保し、本プリンタの質量に耐えられる場所を選んで設置してください。周囲に必要な寸法、足の位置は次のようになっています。

周囲に必要なスペース

●標準状態

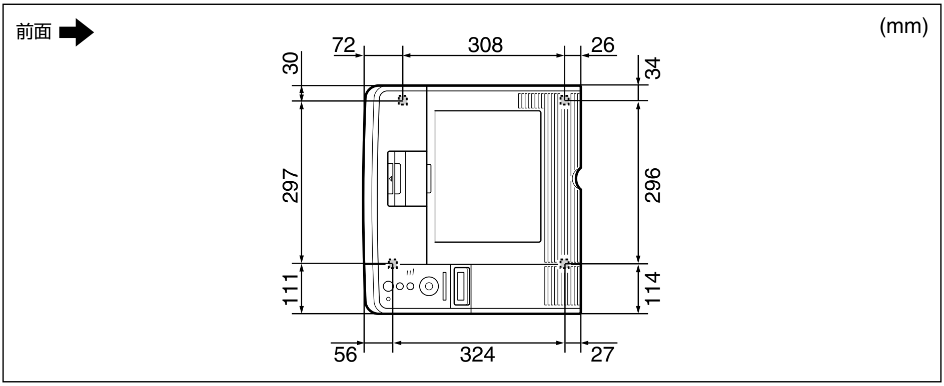


●ペーパーフィーダ装着状態

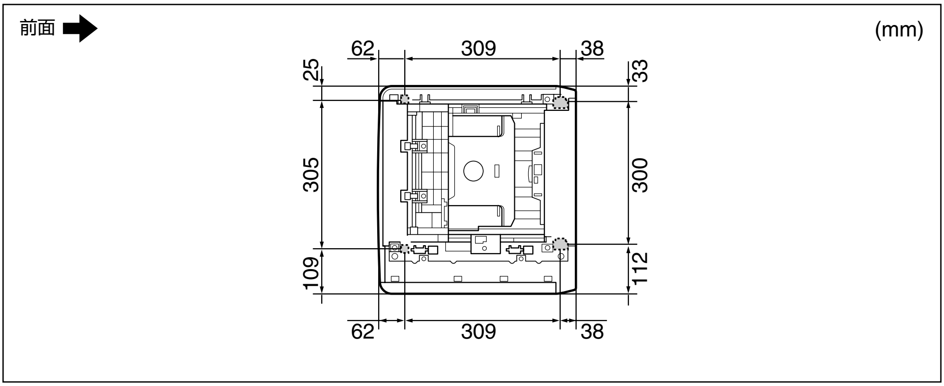


足の位置

●プリンタ本体



●ペーパーフィーダユニット PF-36



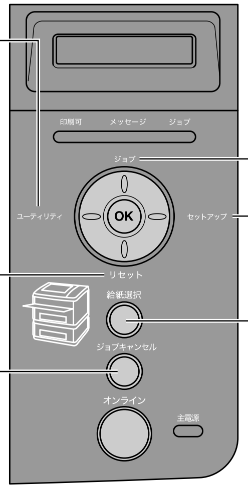
メニュースタートアップ

ユーティリティメニュー (MAP D)
プリンタの現在の設定内容などの内部情報を印刷します。

リセットメニュー (MAP D)
プリンタのリセット操作や印刷データの排出を行います。

ジョブキャンセルメニュー
現在データ受信中およびデータ処理中のジョブをキャンセルします。

※ジョブキャンセルメニューの詳細については、取扱説明書CD-ROMに収められているLIPS機能ガイド第2章「メニューの機能と操作」を参照してください。



ジョブメニュー (MAP D)
各種の履歴リストを印刷します。

セットアップメニュー (MAP A) (MAP B) (MAP C)
レイアウトの調整や、拡大／縮小など、印刷するときの環境を設定します。

給紙選択メニュー (MAP D)
給紙カセットと手差しトレイのどちらから印刷するのかや、用紙のサイズを設定します。

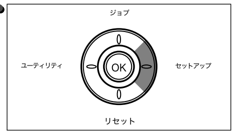
各メニューを表示したあとのメニュー項目（内容）については、該当する (MAP A) から (MAP D) を参照してください。

(MAP A) (MAP B) 共通セットアップメニューを表示する

1.［セットアップ］を押します。
セットアップメニューが表示されます。

ｾｯﾄｱｯﾌﾟ
ｶｸﾁｮｳ ｷﾉｳ →

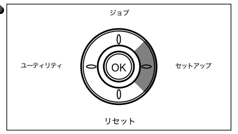
※共通セットアップメニューはオンライン状態／オフライン状態のどちらでも表示することができます。ただし、オンライン状態では、「ユーザメンテナンス」グループの設定はできません。

Push


(MAP C) LIPS専用セットアップメニュー（LIPS4セットアップ、LIPS LXセットアップ）を表示する

1.［セットアップ］を押します。
セットアップメニューが表示されます。

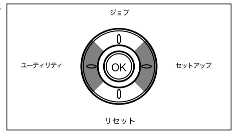
ｾｯﾄｱｯﾌﾟ
ｶｸﾁｮｳ ｷﾉｳ →

Push


※LIPS専用セットアップメニューはオンライン状態／オフライン状態のどちらでも表示することができます。

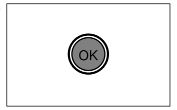
2.「LIPS4セットアップ」または「LIPS LXセットアップ」を表示します。
［◄］または［►］を押します。

LIPS4ｾｯﾄｱｯﾌﾟ →

Push


3. 下の階層へ進みます。
［OK］を押します。
LIPS専用セットアップメニューが表示されます。

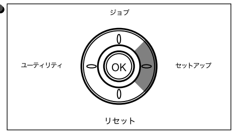
ｶｸﾀﾞｲ/ｼｭｸｼｮｳ →

Push


(MAP C) ESC/P専用セットアップメニューを表示する

1.［セットアップ］を押します。
セットアップメニューが表示されます。

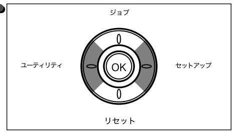
ｾｯﾄｱｯﾌﾟ
ｶｸﾁｮｳ ｷﾉｳ →

Push


※ESC/P専用セットアップメニューはオンライン状態／オフライン状態のどちらでも表示することができます。

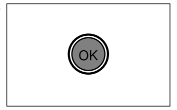
2.「ESC/P セットアップ」を表示します。
［◄］または［►］を押します。

ESC/P ｾｯﾄｱｯﾌﾟ →

Push


3. 下の階層へ進みます。
［OK］を押します。
ESC/P専用セットアップメニューが表示されます。

ﾍﾟｰｼﾞﾚｲｱｳﾄ →

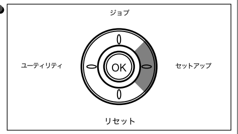
Push


(MAP C) IMAGING専用セットアップメニューを表示する

1.［セットアップ］を押します。
セットアップメニューが表示されます。

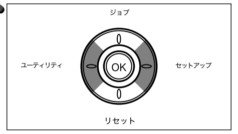
ｾｯﾄｱｯﾌﾟ
ｶｸﾁｮｳ ｷﾉｳ →

※IMAGING専用セットアップメニューはオンライン状態／オフライン状態のどちらでも表示するこができます。

Push


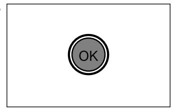
3.「IMAGING セットアップ」を表示します。
［◄］または［►］を押します。

IMAGING ｾｯﾄｱｯﾌﾟ →

Push


4. 下の階層へ進みます。
［OK］を押します。
IMAGING専用セットアップメニューが表示されます。

ｶﾞｿﾞｳﾉﾑｷ →

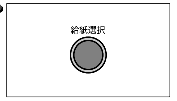
Push


(MAP D) 給紙選択メニューを表示する

1.［給紙選択］を押します。
給紙選択メニューが表示されます。

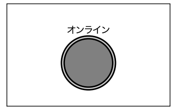
ｷｭｳｼ ｾﾝﾀｸ
ｷｭｳｼ ﾓｰﾄﾞ →

※給紙選択メニューはオンライン状態／オフライン状態のどちらでも表示することができます。

Push


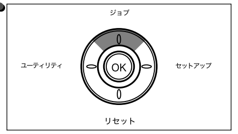
(MAP D) ジョブメニューを表示する

1.オンライン状態になっていることを確認します。
オンライン状態になっていない場合、［オンライン］を押します。



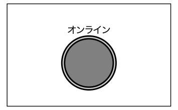
2.［ジョブ］を押します。
ジョブメニューが表示されます。

ｼﾞｮﾌﾞ
ｼﾞｮﾌﾞﾘﾚｷﾘｽﾄ →

Push


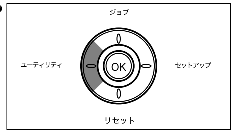
(MAP D) ユーティリティメニューを表示する

1.オンライン状態になっていることを確認します。
オンライン状態になっていない場合、［オンライン］を押します。



2.［ユーティリティ］を押します。
ユーティリティメニューが表示されます。

ﾕｰﾃｨﾘﾃｨ
ｽﾃｰﾀｽﾌﾟﾘﾝﾄ →

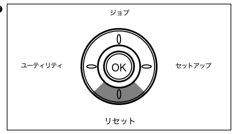
Push


(MAP D) リセットメニューを表示する

1.［ユーティリティ］を押します。
ユーティリティメニューが表示されます。

ﾘｾｯﾄ
ｿﾌﾄ ﾘｾｯﾄ →

※リセットメニューはオンライン状態／オフライン状態のどちらでも表示することができます。ただし、プリンタにエラーが発生しているときは、「排出」をすることはできません。

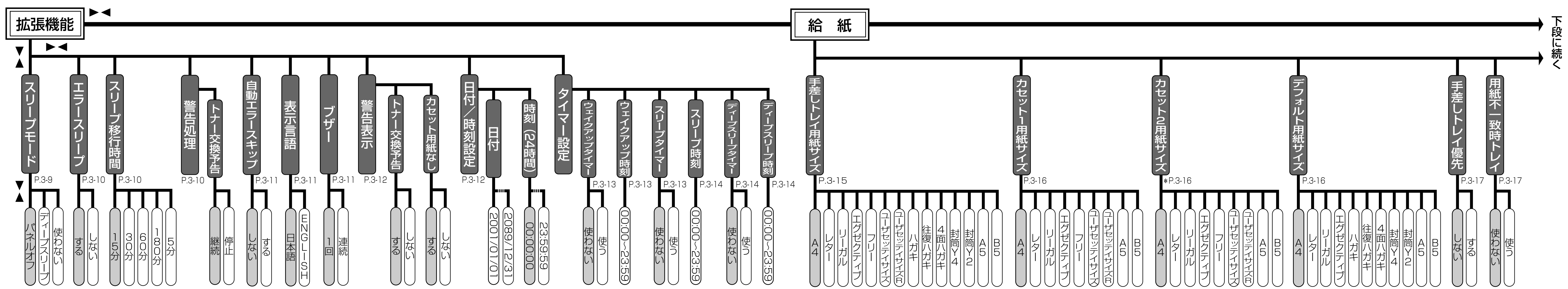
Push


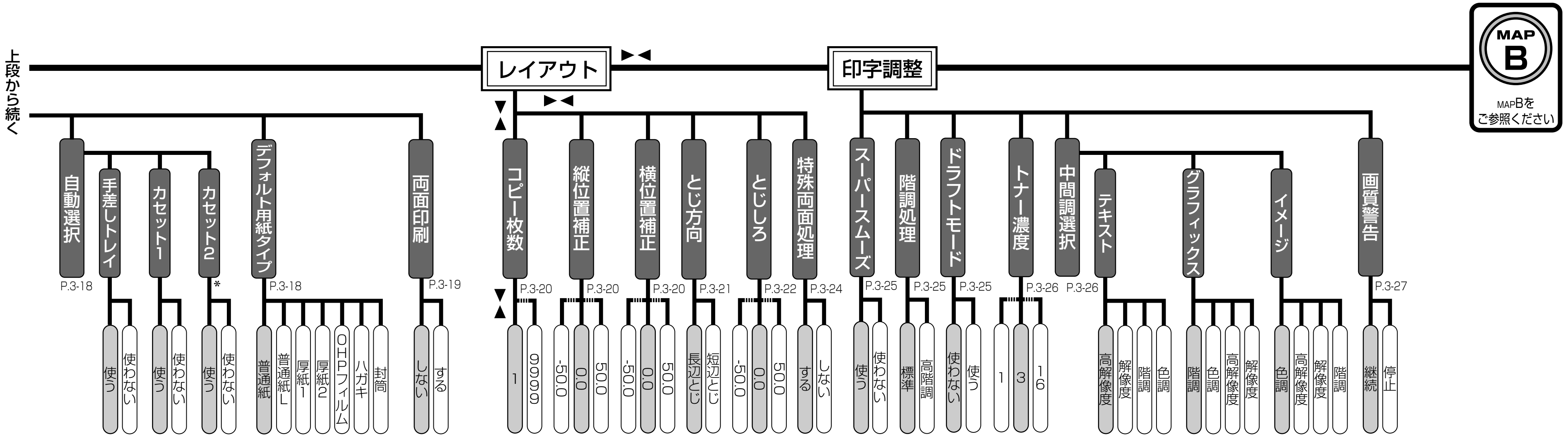
メニュールートマップでは、本プリンタで設定できる各機能のメニューが一目で理解できるように記載してあります。
各メニューの設定項目や内容を知りたいときにご活用ください。
詳しくは、取扱説明書CD-ROMに収められている「LIPS機能ガイド」を参照してください。

MAP A

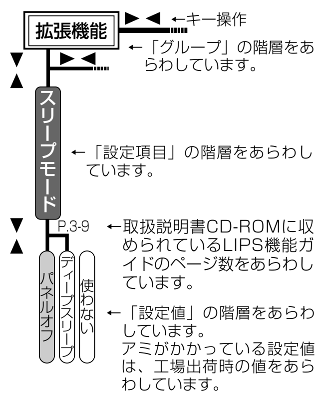
メニュールートマップ

共通セットアップ編





ルートマップの見かた

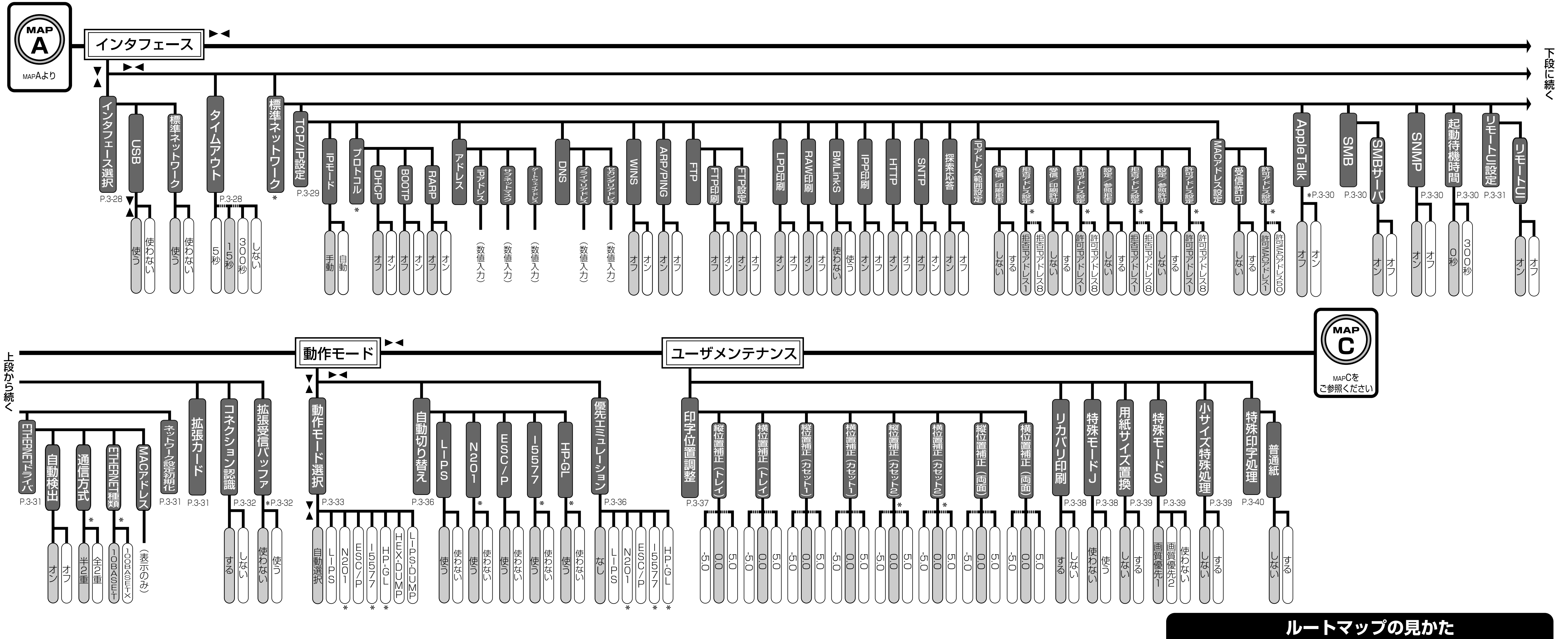


- ルートマップ中の「▪▪▪▪」は、設定値を省略していることをあらわしています。
- 「*」印の設定項目や設定値は、オプションの有無や他の設定項目の内容によって表示されるときと、表示されないときがあります。詳しくは、取扱説明書CD-ROMに収められているLIPS機能ガイドを参照してください。
- キー操作について
  メニュー項目の指定は、操作パネルの▲▼◀▶ と［OK］の5つのキーを使って操作します。
  ▲ 上の項目に戻る。
  ▼ 下の項目に進む。または項目を決定する。［OK］でも同様の操作が行えます。
  ◀ 左の項目を選択する。
  ▶ 右の項目を選択する。

MAP B

メニュールートマップ

共通セットアップ編



ルートマップの見かた

拡張機能 ←キー操作

←「グループ」の階層をあらわしています。

スリープモード ←「設定項目」の階層をあらわしています。

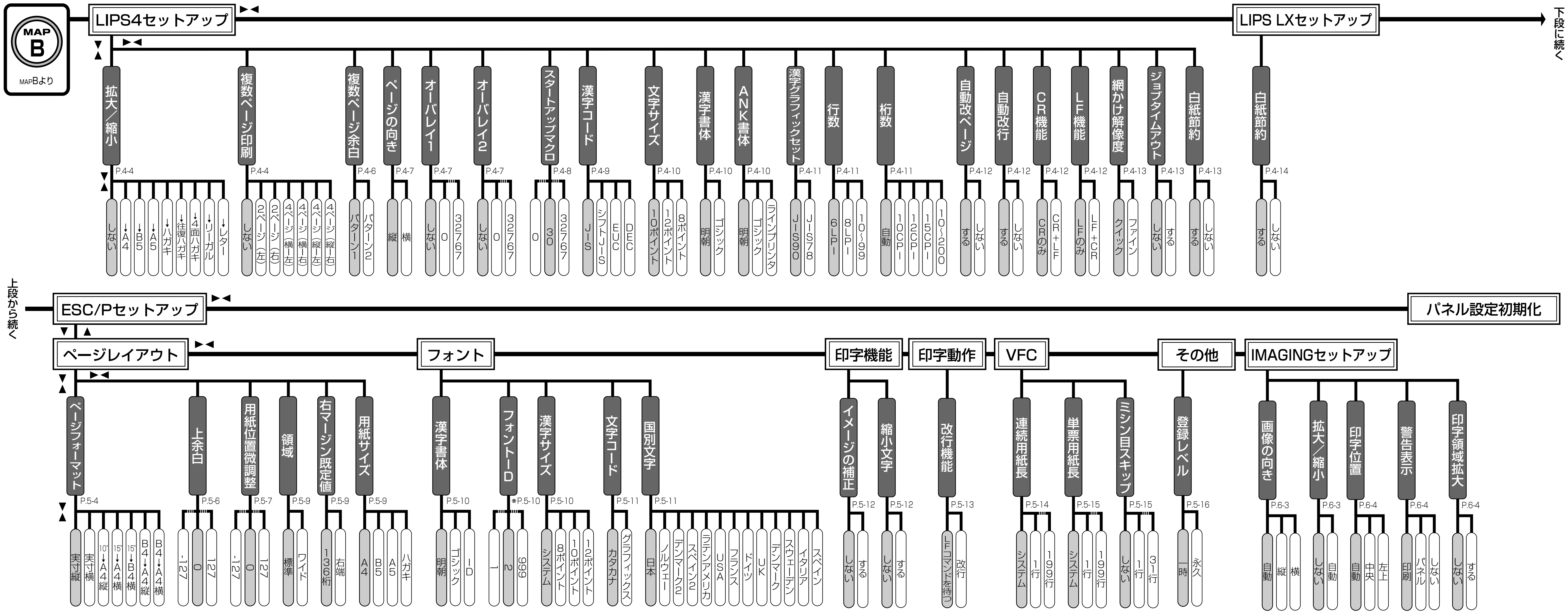
P.3-9 ←取扱説明書CD-ROMに収められているLIPS機能ガイドのページ数をあらわしています。

パネルオフ / ディープスリープ / 使わない ←「設定値」の階層をあらわしています。アミがかかっている設定値は、工場出荷時の値をあらわしています。

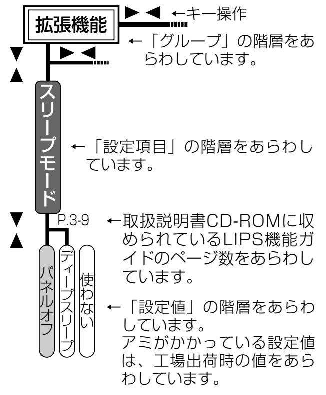
- ルートマップ中の「┅┅」は、設定値を省略していることをあらわしています。
- 「＊」印の設定項目や設定値は、オプションの有無や他の設定項目の内容によって表示されるときと、表示されないときがあります。詳しくは、取扱説明書CD-ROMに収められているLIPS機能ガイドを参照してください。
- キー操作について
  メニュー項目の指定は、操作パネルの▲▼◀▶と［OK］の5つのキーを使って操作します。
  ▲上の項目に戻る。
  ▼下の項目に進む。または項目を決定する。［OK］でも同様の操作が行えます。
  ◀左の項目を選択する。
  ▶右の項目を選択する。

メニュールートマップ

ESC/P・IMAGING
LIPS4・LIPS LX セットアップ編



ルートマップの見かた



●ルートマップ中の「▪▪▪」は、設定値を省略していることをあらわしています。

●「＊」印の設定項目や設定値は、オプションの有無や他の設定項目の内容によって表示されるときと、表示されないときがあります。詳しくは、取扱説明書CD-ROMに収められているLIPS機能ガイドを参照してください。

●キー操作について
メニュー項目の指定は、操作パネルの▲▼◀▶と［OK］の5つのキーを使って操作します。

▲上の項目に戻る。
▼下の項目に進む。または項目を決定する。［OK］でも同様の操作が行えます。
◀左の項目を選択する。
▶右の項目を選択する。

MAP D

メニュールートマップ

その他のメニュー編

給紙選択メニュー

給紙選択メニューの設定項目 P.7-11
給紙選択メニューの機能と操作 P.2-21

- 給紙モード
  - 自動
  - カセット1
  - カセット2 *
  - 手差しトレイ
- 手差しトレイ用紙サイズ
  - A4
  - レター
  - リーガル
  - エグゼクティブ
  - フリー
  - ユーザセッテイサイズ
  - ユーザセッテイサイズR
  - ハガキ
  - 往復ハガキ
  - 4面ハガキ
  - 封筒Y4
  - 封筒Y2
  - A5
  - B5
- カセット1用紙サイズ
  - A4
  - レター
  - リーガル
  - エグゼクティブ
  - フリー
  - ユーザセッテイサイズ
  - ユーザセッテイサイズR
  - A5
  - B5
- カセット2用紙サイズ *
  - A4
  - レター
  - リーガル
  - エグゼクティブ
  - フリー
  - ユーザセッテイサイズ
  - ユーザセッテイサイズR
  - A5
  - B5
- 両面印刷
  - しない
  - する

リセットメニュー

リセットメニューの設定項目 P.7-9
リセットメニューの機能と操作 P.2-17

- ハードリセット
  ソフトリセット
- 排出

ジョブメニュー

ジョブメニューの設定項目 P.7-8
ジョブメニューの機能と操作 P.2-15

- ジョブ履歴リスト
- レポート履歴リスト

ユーティリティメニュー

ユーティリティメニューの設定項目 P.7-4
ユーティリティメニューの機能と操作 P.2-13

- ステータスプリント
- LIPSユーティリティ
  - ステータスプリント
  - フォントリスト
  - オーバレイリスト
  - マクロリスト
  - フォームリスト
  - オーバレイプリント
- N201ユーティリティ *
  - ステータスプリント
- ESC/Pユーティリティ
  - ステータスプリント
- I5577ユーティリティ *
  - ステータスプリント
  - オーバレイプリント
- HP-GLユーティリティ *
  - ステータスプリント
  - サンプルプリント
- クリーニング
- N/Wステータスプリント
- 拡張カードリスト
- 印字位置プリント

●「＊」印の設定項目や設定値は、オプションの有無や他の設定項目の内容によって表示されるときと、表示されないときがあります。詳しくは、取扱説明書CD-ROMに収められているLIPS機能ガイドを参照してください。

●●● サテラ　ご購入者アンケートご協力のお願い ●●●

この度は、キヤノンサテラシリーズをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。みなさまのご意見を今後の製品開発の参考とさせていただきたく、アンケートへのご協力をお願い申し上げます。
本プリンタに付属の User Software CD-ROM と取扱説明書 CD-ROM のトップ画面に、キヤノンホームページのアンケートページへアクセスするボタンがあります。大変お手数ではございますが、そこからアクセス後、質問事項にご回答ください。ご回答いただきました内容はより良いサービスと今後の製品開発の貴重な資料として活用し、それ以外の目的に使用することはありません。

※ アンケートにご回答いただく際には、商品名称と本体機番を入力していただく必要があります。

例）　商品名称　本体機番

LBP3410　LRCA000001

（保証シートおよび前カバー内側、梱包箱外側に記載されています。）

お問い合わせ先について

プリンタドライバのバージョンアップやプリンタが故障したときなど、何らかのお問い合わせが必要になったときは、目的に応じて以下のお問い合わせ先にご連絡ください。

お買い上げいただいた販売店

・消耗品やオプション品のご購入について
・故障時の修理について

キヤノンホームページ

・プリンタドライバのバージョンアップ情報およびダウンロード
・トラブル発生時の解決方法
・商品のご紹介や各種イベント情報など

http://canon.jp/

お客様相談センター

・技術的なご質問や本プリンタの取り扱い方法について
・消耗品やオプション品をご購入する際に不明な点がある場合
・故障時の修理について不明な点がある場合

お客様相談センター （全国共通番号）

050-555-90061

［受付時間］　＜平日＞9:00～20:00　＜土日祝日＞10:00～17:00
（1/1～3は休ませていただきます）

※ 上記番号をご利用いただけない方は043-211-9627をご利用ください。
※ IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※ 受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

RT5-0187-020

RT5-0187　(020)　XXXXXXXXXX

PRINTED IN CHINA